

平成23年度 事業報告書

はじめに	3
I. 法人の概要	3
1. 学校法人の沿革（概要）等	3
2. 学校法人跡見学園寄附行為	7
3. 寄附行為に定める事業内容	7
4. 所管官庁に関する事項	7
5. 設置する学校・学部・学科等	7
6. 理事・監事・評議員（第21期）、顧問	9
7. 学園組織	10
8. 専任教職員の概要	11
9. 学外施設	12
II. 事業の概要	13
1. 法人事務局	16
2. 女子大学	26
3. 中学校高等学校	37
III. 財務の概要	46
1. 平成23年度跡見学園収支決算について	46
(1) 資金収支計算書	46
(2) 消費収支計算書	49
(3) 貸借対照表	52
(4) 財産目録	55
2. 過去5年間の収支決算の推移について	56
IV. 収益事業の概要	57
監査報告書	59

はじめに

平成23年度は、3月11日（金）14：46に発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震及び巨大津波）に伴う原発事故や計画停電等による未曾有の社会的混乱と余震の中で始まりました。そして、夏の電力不足や海外の金融不安・景気減速・水害等のあおりも受ける中で、国力の衰えを予感させる少子高齢化、貿易収支の赤字化、財政状況の悪化等に依然として歯止めがかかる見通しを欠いたまま、国会の消費税増税をめぐる争論の中で、めまぐるしい一年の年度末を迎えました。

震災からの復興はなかなか進まず、欧州の債務危機をはじめとする世界的な政情不安のなか、国内景気の停滞に伴い、生産と消費の後退や家計収入の悪化等、日本が置かれた内外の厳しい環境の変化は、今後、私学の財務運営にも大きな影響を及ぼして参ります。

定員割れの私立大学は全体の4割に上り、都内でも平成25年度から学生募集を停止する大学が現れたと日本経済新聞（平成24年4月30日）が報道しておりましたが、私立大学の閉校が地方からいよいよ首都圏にまで及んできています。

18歳人口の急減が再び数年後に口をあけて待つこれからの厳しい競争環境を勝ち抜くために、新たな将来計画の立案に当たっては、今後の出願校選択、入学辞退、中途退学をはじめ進学・就職状況等の動向や価値観の流動化について、我々は、既存認識に縛られることなく、一段と注意深い対応をしていく必要があります。

このような状況において、今後とも学園は、「選ばれる私学」として、女子の新しい進学需要を開拓し、学びへの期待に応える満足度の高い「優れた教育」を提供できる「常に改革し動いている跡見」であることが求められます。このために、現在、学園が新たに取り組む教育改革は、昨年度に引き続き、大学にあっては、都心と郊外にキャンパスを有する女子大学として、これを活用する教育課程の革新と女性の可能性を最大限に引き出すための新たな教育方法の追求であり、また、中学校にあっては、面倒見がよく、一段と高い大学進学競争力をもった学校となるための教育体制の刷新であります。

学園としては、日本近代女子教育の先駆的な私立学校である「跡見学校」以来の伝統を継ぎ、女子教育に対する深い使命感と高い財務規律に立って、今後とも如何なる環境の変化にも対応できる強い経営基盤を堅持し、些かの不安も生じることのない健全な財務運営を図っていく所存であります。

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革（概要）等

明治8年1月8日 学祖跡見花蹊、東京神田に跡見学校を開設

21年1月8日 小石川柳町に校舎移転

大正2年11月21日 財団法人跡見女学校設立認可

昭和8年1月11日 小石川大塚校舎移転

19年4月1日 高等女学校令により跡見女学校を跡見高等女学校に改称

21年3月30日 跡見高等女学校専攻科設置認可（修業年限3年 文科国文、家政科）

22年4月1日 跡見学園中学部設置認可（学制改革による）

23年3月10日 跡見学園高等学校設置認可（学制改革による）

24年3月31日 跡見高等女学校廃止認可

24年4月1日 跡見学園高等学校専攻科（文科：国文・英文課程、家政科：家政保健・生活芸術課程）、及び別科設置認可

25年3月14日 跡見学園短期大学設置認可

（文科国文・家政科〔家政保健・生活芸術課程〕修業年限2年）

25年3月31日 跡見学園高等学校別科廃止

- 25年11月10日 跡見学園中学部を跡見学園中学校に改称
- 26年2月21日 財団法人跡見女学校より学校法人跡見学園に組織変更認可
- 26年3月31日 跡見学園高等学校専攻科生徒募集停止
- 27年2月20日 跡見学園短期大学生生活芸術科増設認可
- 29年4月1日 跡見学園高等学校専攻科廃止届
- 33年2月6日 跡見学園高等学校・中学校の「6年制一貫教育」体制の実施
- 40年1月25日 跡見学園女子大学（文学部国文学科、美学美術史学科）設置認可
- 41年12月26日 跡見学園女子大学文学部英文学科増設認可
- 49年1月23日 跡見学園女子大学文学部文化学科増設認可
- 50年10月21日 跡見学園創立100周年記念式典挙行
- 57年1月16日 跡見学園短期大学入学定員変更、文科英文専攻課程設置認可
- 60年12月25日 跡見学園短期大学文科英文専攻課程に臨時的定員増認可
- 平成2年9月28日 跡見花蹊生誕150周年記念式典挙行
- 2年12月21日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増認可
- 6年8月30日 跡見学園短期大学から跡見学園女子大学短期大学部に名称変更認可
- 7年11月11日 跡見学園創立120周年記念式典挙行
- 7年11月15日 跡見学園女子大学花蹊記念資料館開館
- 11年10月20日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増延長認可
跡見学園女子大学短期大学部に臨時的定員増延長認可
- 13年5月29日 跡見学園女子大学文学部4学科（国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科）
を改組し、文学部人文学科の設置認可
開設時期 平成14年4月1日
- 13年8月1日 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科設置認可
開設時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部文科収容定員増に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部文科英文専攻課程の期間を付した入学定員の設定に係る
学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部家政科収容定員減に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部生活芸術科収容定員減に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
- 13年12月20日 跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科設置認可
開設時期 平成14年4月1日
- 14年3月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科の学生募集
停止届出
実施時期 平成14年4月1日
- 14年4月1日 跡見学園女子大学文学部人文学科・臨床心理学科、マネジメント学部マネジメント学
科開設
- 15年7月11日 跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程及び英文専攻課程名称変更届出
跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程・英文専攻課程及び家政科の収容定員
変更届出

入学定員

文科国文専攻課程 → 言語文化科日本語専攻課程 -10名 (60名)

- 文科英文専攻課程 → 言語文化科英語専攻課程 + 5名 (100名)
 家政科 + 5名 (100名)
 変更時期 平成16年4月1日
- 15年7月22日 学校法人跡見学園寄附行為変更届
 名称変更：短期大学部文科 → 短期大学部言語文化科
 文科国文専攻課程 → 言語文化科日本語専攻課程
 文科英文専攻課程 → 言語文化科英語専攻課程
- 15年8月1日 跡見学園女子大学短期大学部収容定員関係学則変更届出書の受理通知受領（文部科学省大学課短期大学係）
- 16年11月30日 跡見学園女子大学大学院人文科学研究科日本文化専攻・臨床心理学専攻設置認可
 開設時期 平成17年4月1日
- 17年3月23日 評議員会・理事会において可決承認
 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置
 跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置
 以上開設時期 平成18年4月1日
 跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止
 実施時期 平成18年4月1日
- 17年4月1日 代表権者確認の変更登記
 「私立学校法の一部を改正する法律」（平成16年法律第42号）の施行に伴う変更登記
- 17年4月5日 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置届出
 跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置届出
 跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止の報告
 以上開設・実施時期 平成18年4月1日
- 17年6月21日 跡見学園第19期役員・評議員改選、選任完了
- 17年7月29日 跡見学園女子大学文学部人文学科、臨床心理学科及びマネジメント学部マネジメント学科の収容定員変更認可
 人文学科 1,440名
 臨床心理学科 480名
 マネジメント学科 880名
 変更時期 平成18年4月1日
- 17年10月20日 跡見学園130年史『跡見学園—130年の伝統と創造』刊行
 11月12日 跡見学園創立130周年記念式典挙行
 12月5日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科マネジメント専攻設置
 認可開設時期 平成18年4月1日
 12月13日 評議員会・理事会において可決承認
 「跡見学園女子大学短期大学部の施設拡充計画（概要）」
 工期 平成19年4月～平成20年9月
 12月20日 『跡見花蹊日記』刊行（全5巻のうち 第1巻～第4巻まで刊行）
- 18年3月27日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科設置計画の変更協議書の提出（文部科学省大学設置室法人係）
 9月30日 跡見学園女子大学文学部美学美術史学科廃止
 届出日 平成18年9月28日
 12月5日 「大学教員組織の整備」
 一学校教育法を一部改正する法律（平成17年法律第83号）—
 助教授に代えて准教授を設けるとともに、助教を新設する。

- 大学及び大学院の学則を変更することを評議員会・理事会において承認可決し、文部科学省に提出
施行日 平成19年4月1日
- 19年 3月27日 評議員会・理事会において可決承認
短期大学の廃止及びそれに伴う寄附行為の変更について決議
- 3月31日 跡見学園女子大学短期大学部閉学（文部科学大臣の認可を待って廃止予定）
跡見学園女子大学文学部英文学科廃止
届出日 平成19年3月29日
- 4月20日 『跡見花蹊日記』第5巻刊行 『別巻 参考資料・補遺編』として刊行
- 4月23日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可申請
- 5月22日 跡見学園女子大学文学部文化学科廃止
届出日 平成19年5月21日
- 6月11日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可
短期大学部廃止に伴う寄附行為の変更登記
登記日 平成19年6月19日
短期大学部廃止に伴う寄附行為変更登記完了の届出
届出日 平成19年7月2日
- 9月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科廃止
届出日 平成19年9月27日
- 20年 3月25日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園中学校高等学校の教室棟増設に関する件について決議
跡見学園鶴原寮の建物等の解体に関する件について決議
- 3月31日 跡見学園鶴原寮閉寮
- 6月24日 跡見学園第20期役員・評議員改選、選任完了
- 11月4日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園女子大学文学部に現代文化表現学科を設置
跡見学園女子大学マネジメント学部観光マネジメント学科を設置
以上設置時期 平成22年4月1日
- 3月24日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学科設置に伴う寄附行為の変更について決議
- 21年 4月28日 跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科設置届出
跡見学園女子大学マネジメント学部観光マネジメント学科設置届出
以上開設時期 平成22年4月1日
- 22年 5月25日 理事会・評議員会において可決承認
跡見学園女子大学の位置を平成23年4月1日より東京都文京区大塚一丁目5番2号に変更
- 5月27日 跡見学園女子大学の位置変更届出
届出日 平成22年5月27日
実施日 平成23年4月1日
- 23年10月25日 理事会・評議員会において可決承認
跡見学園中学校高等学校の職名「主事」を「副校長」に名称変更
- 24年 1月31日 跡見学園中学校高等学校の職名「主事」を「副校長」に名称変更したことに伴う寄附行為変更の認可
申請日 平成23年12月15日

認可日 平成24年1月31日

2. 学校法人跡見学園寄附行為

大正二年十一月二十一日制定
(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来経営して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、大正二年十一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健康な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

3. 寄附行為に定める事業内容

(目的)

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行うことを目的とする。

4. 所管官庁に関する事項

文部科学省高等教育局私学部

東京都生活文化局私学部

5. 設置する学校・学部・学科等

(1) 女子大学

創設年度＝昭和40年度

所在地 住 所 〒112-8687 東京都文京区大塚一丁目5番2号

電 話 03-3941-7420 (事務室直通)

F A X 03-3941-8333 (事務室)

文京キャンパス 同 上

新座キャンパス 住 所 〒352-8501 埼玉県新座市中野一丁目9番6号

電 話 048-478-3333 (庶務課直通)

F A X 048-478-3111 (庶務課)

1) 大学院

(単位：名)

研究科・専攻名		開設年度	入学定員	編入学定員	入学者数 (H23年4月1日)	収容定員	学生数 (H23年5月1日)
人文科学研究科	日本文化専攻	平成17年度	8		1	16	1年 1 2年 5
	臨床心理学専攻	平成17年度	12		8	24	1年 8 2年 12
マネジメント研究科	マネジメント専攻	平成18年度	15		3	30	1年 3 2年 3
合 計			35		12	70	32

2) 学部

(単位：名)

学部・学科名		開設年度	入学定員	編入学 定員	入学者数 (H23年4月1日)	収容定員	学生数 (H23年5月1日)
文学部	人文学科	平成14年度	180		229 (2)	1,080	1年 229 2年 238 3年 410 4年 424
	臨床心理学科	平成14年度	120		121 (-)	480	1年 121 2年 133 3年 116 4年 133
	コミュニケーション 文化学科	平成18年度	120		127 (1)	420	1年 127 2年 161 3年 118 4年 107
	現代文化表現学科	平成22年度	90		116 (-)	180	1年 116 2年 110
マネジメント学部	マネジメント学科	平成14年度	210		257 (2)	850	1年 257 2年 262 3年 266 4年 241
	生活環境 マネジメント学科	平成18年度	60		53 (1)	280	1年 53 2年 81 3年 100 4年 62
	観光 マネジメント学科	平成22年度	90		107 (-)	180	1年 107 2年 107
合 計			870	0	1,010 (6)	3,470	4,079

* () は外数で編入学者数

(2) 高等学校

創設年度＝昭和23年度

所在地 住 所 〒112-8629 東京都文京区大塚一丁目5番9号
電 話 03-3941-8167 (庶務課直通)
F A X 03-3941-8685 (庶務課)

(単位：名)

学科・課程名	開設年度	入学定員	入学者数 (H23年4月1日)	収容定員	学生数 (H23年5月1日)
全日制課程普通科	昭和23年度	300	251	900	773

(3) 中学校

創設年度＝昭和22年度

所在地 住 所 〒112-8629 東京都文京区大塚一丁目5番9号
電 話 03-3941-8167 (庶務課直通)
F A X 03-3941-8685 (庶務課)

(単位：名)

開設年度	入学定員	入学者数 (H23年4月1日)	収容定員	学生数 (H23年5月1日)
昭和22年度	300	276	900	800

* 中学校の募集定員は270名

6. 理事・監事・評議員（第21期）、顧問

(平成24年3月31日現在)

(1) 理事 13名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
山崎一穎	理事長 職務上・中高校長	岡田章子	評議員理事（卒業生）
嶋田英誠	学識経験者 常務理事（教学担当）	大塚和子	評議員理事（卒業生）
山田徹雄	職務上・女子大学長 常務理事（財務担当）	見米孝尚	評議員理事（保証人）
大塚博	職務上・女子大副学長	佐藤正昭	評議員理事（学識経験者）
住川明子	職務上・中高主事	日下部禧代子	評議員理事（学識経験者）
堀雅裕	職務上・法人事務局長 事業理事 常務理事（総務・人事担当）	平木典子	学識経験者
小仲信孝	評議員理事（教職員）		

(2) 監事 2名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
金井塚清	学識経験者	伊澤辰雄	学識経験者

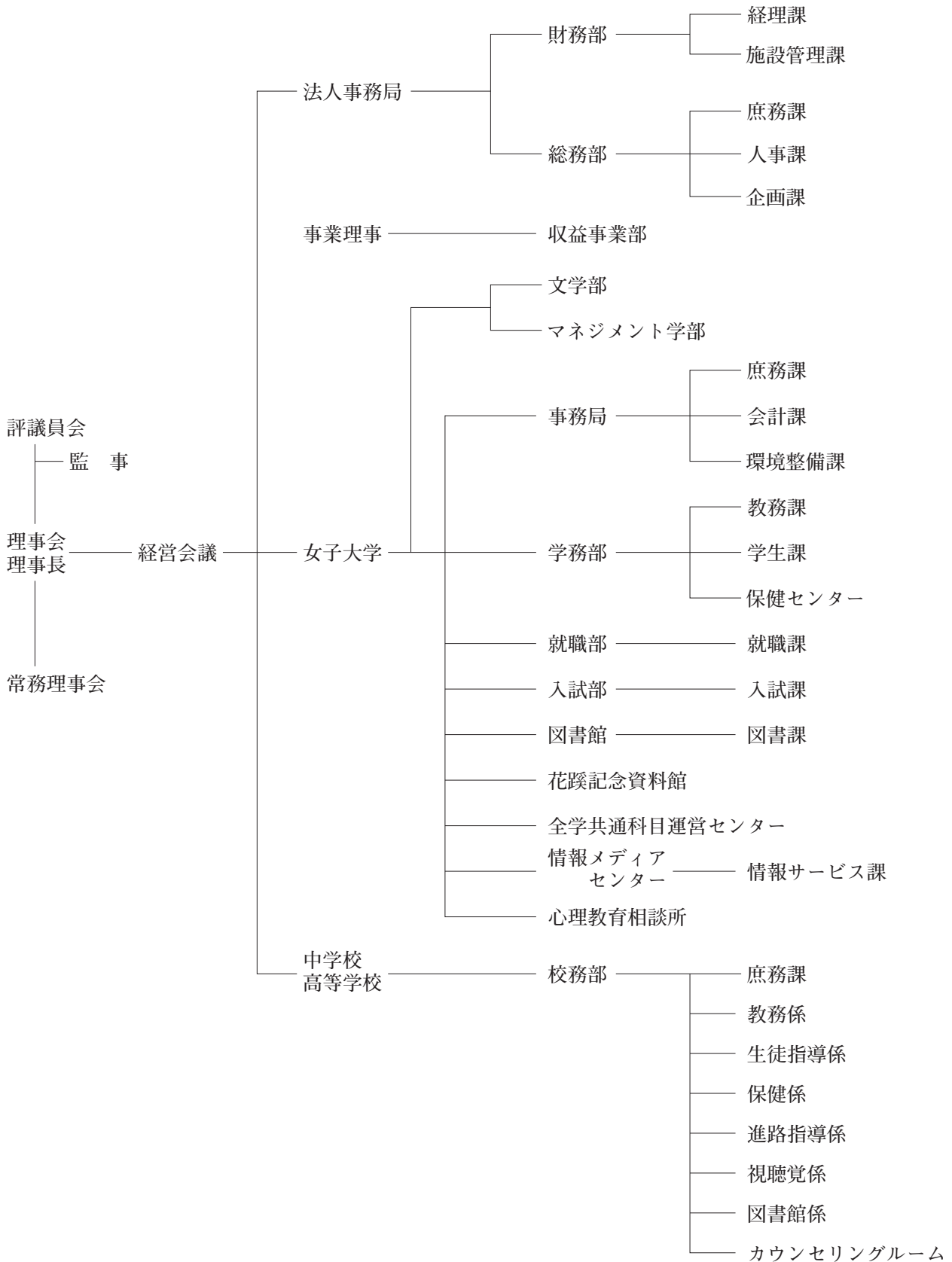
(3) 評議員 36名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
大野二郎	教職員（大学）	山崎一穎	職務上・中高校長
小仲信孝	教職員（大学）	山田徹雄	職務上・女子大学長
山口豊一	教職員（大学）	大塚博	職務上・女子大副学長
花澤英夫	教職員（中高）	住川明子	職務上・中高主事
中山幸久	教職員（中高）	堀雅裕	職務上・法人事務局長
詫磨学	教職員（法人）	碓智宏	保証人（大学）
木村安子	卒業生（泉会）	小泉徹	保証人（大学）
岡田章子	卒業生（泉会）	中島由紀雄	保証人（大学）
川合智子	卒業生（泉会）	鈴木克久	保証人（大学）
松浦仁子	卒業生（泉会）	牧野丘	保証人（大学）
山下陽枝	卒業生 （校友会長・桃李の会）	邊見孝之	保証人（大学）
萬葉洋子	卒業生（桃李の会）	江口壮	保証人（中高）
田中恵美子	卒業生（桃李の会）	見米孝尚	保証人（中高）
唐木フク	卒業生（桃李の会）	加藤三郎	保証人（中高）
大塚和子	卒業生（一紫会）	佐藤正昭	学識経験者
藤田理恵子	卒業生（一紫会）	日下部禧代子	学識経験者
田子郁子	卒業生（一紫会）	宮本文昭	学識経験者
池田文子	卒業生（一紫会）	今野雅裕	学識経験者

(4) 顧問 1名

氏名	職名・学園との関係	備考
跡見純弘	学識経験者	前理事長

7. 学園組織 (平成23年 4月1日現在)



8. 専任教職員の概要 (平成23年4月1日現在)

(1) 教職員数等

1) 大学院教員

人文科学研究科 (学部専任教員13名兼担)

マネジメント研究科 (学部専任教員11名兼担)

(単位：名)

	専任					非常勤
	教授	准教授	講師	助教	計	
人文科学研究科	11	2	0	0	13	14 (他学部 兼担含む)
マネジメント研究科	11	0	0	0	11	
計	22	2	0	0	24	14
前期末比増減	0	0			0	-2
平均年齢	60	47			59	60

2) 大学教員

(単位：名)

		専任					非常勤
		教授	准教授	講師	助教	計	
文学部	人文学科	20	4	0	2	26	276
	臨床心理学科	8	4	0	0	12	
	コミュニケーション 文化学科	9	0	1	1	11	
	現代文化表現学科	5	3	0	0	8	
マネジメント学部	マネジメント学科	9	4	2	2	17	
	生活環境 マネジメント学科	6	1	0	1	8	
	観光マネジメント 学科	5	3	0	0	8	
計		62	19	3	6	90	276
前期末比増減		-2	+3	0	0	+1	-14
平均年齢		60	48	39	38	56	51

3) 中学校高等学校教員

(単位：名)

	専任				非常勤
	校長	教諭	講師	計	
高等学校	(理事長兼務)	27	6	33	22
中学校		31	3	34	31
計		58	9	67	53
前期末比増減		+1	+1	+2	+2
平均年齢		44	34	43	45

4) 事務・技術・用務職員

(単位：名)

	事務職員	技術職員	用務職員	計
法人事務局	21	0	1	22
女子大学	67	0	3	70
中学校高等学校	10	0	1	11
計	98	0	5	103
前期末比増減	0	-1	0	-1
平均年齢	42	0	64	43

※法人には事業部2名を含む

9. 学 外 施 設

(1) 北軽井沢研修所

住 所 〒337-1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地藏堂1991番地92

電 話 0279-84-2362

F A X 0279-84-1178

収容人数 約80名

テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

(2) 学生寮

住 所 〒352-0011 埼玉県新座市野火止五丁目17番17号

電 話 048-478-3337 (FAX兼)

収容人数 133名

設 備 全室個室(洋室)

バス、トイレ、エアコン、冷蔵庫、机、ベッド、電話、インターネットアダプタを完備

食堂、談話室、作法室、レッスンルーム、コインランドリー設置

食 事 平 日：朝食・夕食

日・祝日：朝食のみ

Ⅱ. 事業の概要

平成23年度事業の主な概要は、次のとおりである。

① 東日本大震災に伴う新座キャンパスの補修工事

東日本大震災に伴う新座キャンパスの被害状況への対応について、1号館は建物の構造耐力への影響は応急処置により地震前の状態に戻すことが可能、2号館は建物の構造について問題なしとの診断結果が得られたので、施設については、地震前の原形復旧により、建物として従前の安全性は確保されることから、大学の春学期授業が開始となる5月6日（金）に間に合わせるため、4月16日（土）～27日（水）で補修工事を行いました。

② 余震に対し避難しやすい教室確保のための改修工事

余震頻発のため避難の安全を確保する必要の観点から、新座キャンパス1号館の3階以上の教室利用を控えるため、補修工事と並行して、新座キャンパス2号館低層階の8教室を普通教室に改修し、また図書館（3階建）の一部についても教室として利用できる仕様に切り替えました。

③ サーバの外出しによる学園ネットワークの再構築

東日本大震災による新座キャンパス停電に伴うWebサーバ、Mailサーバ等の全面的なダウンの経験を踏まえた対応策を検討するためにネットワーク会議を設置し、その審議に基づき、従来どおりの機器更新を取り止め、平成24年度中に基幹サーバを中心に学外のデータセンターにサーバを出すことによる学園ネットワーク再構築を実施に移すことを決定しました。

④ 東日本大震災の被災学生に対する学費減免

東日本大震災の被災学生に対する学費減免（授業料免除）については、親元の家屋が損壊した者のほか、震災に伴って発生した原発事故の避難区域に親元がある者で、家屋損壊状況が確認不能、又は損壊軽微であっても避難により収入途絶・激減に直面し、就学継続が困難になっている者についても、減免対象として実施しました。（平成24年度も継続）

⑤ 第21期役員及び評議員の改選

理事会（357回）及び評議員会（311回）をもって第21期の役員及び評議員の改選が終了し、理事長には山崎一穎氏が再任されました。

⑥ 職員人事評価制度の試行的実施

自己点検評価マネジメントシステム（経営評価指標）と連動させて業務の目標管理及び職員育成の観点から導入された職員人事評価制度については、平成23年度を試行期間として実施されました。年度末に行われた評価者会議等を通じて見えてきた様々な改善点を踏まえ、次年度から本格的な実施に向けた制度修正を行うことになりました。

⑦ 財務シミュレーションの更新

10年以内に訪れる18歳人口の更なる急減をにらみ、今後の収支見通しから長期的に健全で安定した財務を確保するため、経営に必要な入学者確保を前提に、将来予測される様々な施設・設備の保守、人員確保のほか、耐用年数を経過した施設・設備の更新や新規取得等の必要も視野に入れて、平成22年度決算及び平成23年度当初予算を起点とする財務シミュレーションを行い、将来的な資金力についても検証しました。

⑧ 予算編成における事業計画別（業務目的別）予算コードの導入

業務それ自体と予算との関係を明確化し、予算用途について教育機関としてのアカウントビリティを高めるため、組織縦割りの予算コード（形態別）をそのまま使って業務コードとしていたことを改め、平成24年度予算編成から、財務システムに新たに実際の業務に即した事業計画別（業務目的別）予算コードを導入しました。

⑨ 大学将来構想の検討

「将来問題検討会議答申」に対し、市場展望と学園財務という内外の環境を勘案し経営的視点から改

めて全学教授会に学長提案（新学部設置と既存学科の入学定員見直しについて検討）を行い、副学長を座長とし、小仲理事、小川教授、外部委員（京大名誉教授の渡邊 尚氏）等からなる学部設置準備委員会を発足させました。

⑩ 校長及び副校長の選任

平成24年3月31日に任期満了となる山崎一穎校長の後任校長について、平成23年11月22日の経営会議の議を経て、平成23年12月6日の第359回理事会において、教学担当常務理事の嶋田英誠氏が選任されました。

また、同じく平成24年3月31日に任期満了となる住川明子主事の後継職名となる副校長について、平成24年1月31日の経営会議の議を経て、現主事（教諭）の住川明子氏が選任されました。

⑪ 大学グリーンホールの食堂リニューアル

昭和55年12月に建設されて以来、そのまま変更されることなく今日に至っていたグリーンホール1階の食堂のフロアが平成24年3月にリニューアルされ、一人席、カフェラウンジ等の新しいエリアが設けられるとともに、テーブルや椅子も一新され、女子大らしい明るく華やいだ雰囲気になりました。

<平成23年度事業の主な流れ>

- 平成23年 4月12日 東日本大震災に伴う学費減免措置を決定
新座キャンパス1号館の教室使用を新座キャンパス2号館に振り替えることに伴う2号館8教室改修工事の実施を決定
- 4月19日 新座キャンパス1号館の教室使用について、なお余震が続くことを勘案し、避難する場合に大人数の学生が一度に通路を埋めることを避け、安全に避難することができる余裕を確保するため、3～5階については、一部を除き、当面、使用を控えることを決定
- 4月27日 新座キャンパス1号館及び2号館並びに文京キャンパス1号館視聴覚ホールについて、東日本大震災に伴う原形復旧のための補修工事が完了
- 5月6日 大学の春学期授業が開始
- 5月10日 東日本大震災による新座キャンパス停電に伴うWebサーバ、Mailサーバ等の全面的なダウンの経験を踏まえた対応策を改めて検討するためにネットワーク会議を設置
- 6月20日 省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）第7条第1項に基づく「特定事業者」（特定事業者番号0606031）の指定通知を受領（年1%以上のエネルギー使用効率の改善が必須）
- 6月21日 夏期節電対策の基本方針を決定
東日本大震災に伴う学費減免措置に「原発避難」の区分を追加
理事会（357回）及び評議員会（310回）をもって第21期の役員及び評議員の改選を終了
- 9月14日 「将来問題検討会議答申」（7月6日）に対し、市場展望と学園財務という内外の環境を勘案し経営的視点から改めて全学教授会に学長提案を行うことを決定
- 9月27日 予算編成における事業計画別（業務目的別）予算コードの導入を決定
- 10月4日 学生寮検討委員会の設置を決定
- 10月25日 理事会・評議員会にて、主事の職名変更等に伴う関係規程改正及び学生寮の閉寮の意思表示と新たな学生寮の検討開始について承認決議
- 11月17日 新座キャンパス1号館の耐震補強工事の実施を決定
- 11月25日 体育倉庫（一部を備蓄庫として使用）の完成引渡
- 11月29日 学園におけるホームページを平成24年度中にリニューアルすることを決定
- 12月6日 ホームページ再構築推進委員会設置を決定

- 理事会にて嶋田英誠常務理事（教学担当）を次期校長に選任
- 12月22日 従来どおりの機器更新を取り止め、サーバ外出しによる学園ネットワークの再構築を決定
- 平成24年1月11日 全学教授会にて新学部設置と既存学科の入学定員見直しについて検討することを学長提案
- 副学長を座長とし、小仲理事、小川教授、外部委員（京大名誉教授の渡邊 尚氏）等からなる学部設置準備委員会を発足
- 1月17日 次年度から大学にてICカードを一斉導入することを決定
- 1月31日 主事の職名変更に係る寄附行為変更を文部科学大臣が認可
- 2月28日 大学グリーンホールの食堂フロア改修工事（3月）を決定
- 3月27日 理事会・評議員会にて以下の件について承認決議
- ・ 校長退任に伴う選任区分変更から寄附行為第8条第3項に規定する理事選任（学識経験者）及び当該理事を基礎身分とする理事長の選任を改めて実施
 - ・ 固定資産の取扱いに係る学校法人跡見学園経理規程の一部改正
 - ・ 大学新座キャンパス1号館の耐震改築事業
 - ・ 跡見学園教育施設維持資金募金の継続実施
 - ・ 遺贈等による寄付制度を設けること
- 平成23年度新入生募金（今期最終年度）の応募状況及び平成18年度から実施している今期の跡見学園教育施設維持資金募金について実績報告
- | | |
|--------|----------------------|
| 募金申込者数 | 342名（平成23年度） |
| 募金金額 | 54,780千円（平成23年度） |
| 今期応募率 | 24.8% |
| 今期実績 | 378,350千円（平成18～23年度） |
| 今期達成率 | 75.6%（目標額 500,000千円） |

1. 法人事務局

(※) 印は平成23年度事業計画事業)

(1) 平成23年度理事会・評議員会

1) 理事会

開催日	会議	議案
平成23年 5月24日	354回	1. 平成22年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2. 平成22年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3. 寄附行為第19条の2第1号及び第19条の2第2号に規定する評議員選任に関する件
平成23年 5月31日	355回	1. 監事候補者の選定に関する件
平成23年 6月14日	356回	1. 寄附行為第8条第3項に規定する理事選任に関する件
		2. 吉田一恵常務理事の退任に伴う退職慰労金の支給について
平成23年 6月21日	357回	1. 理事長の選任及び校長の委嘱に関する件
		2. 監事の選任に関する件
		3. 事業理事の指名に関する件
		4. 常務理事の選任に関する件
		5. 校長に就任する学識経験者理事の理事選任区分変更に関する件
平成23年10月25日	358回	1. 平成23年度跡見学園収支補正予算に関する件
		2. 平成24年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
		3. 主事の職名変更等に伴う関係規程の一部改正に関する件
		4. 学生寮の閉寮に関する意思表示及び新たな学生寮の検討に関する件
平成23年12月 6日	359回	1. 跡見学園中学校高等学校校長の選任について
		2. 理事長の校長兼任を解くことに伴う理事選任区分変更に関する件
		3. 校長就任に伴う理事選任区分変更に関する件
平成24年 3月27日	360回	1. 選任区分変更に伴う寄附行為第8条第3項に規定する理事選任(学識経験者)及び当該理事を基礎身分とする理事長の選任に関する件
		2. 固定資産の取扱いに係る学校法人跡見学園経理規程の一部改正に関する件
		3. 寄附行為第19条の2第1号に規定する評議員の補欠選任に関する件
		4. 大学新座キャンパス1号館の耐震改築事業に関する件
		5. 跡見学園教育施設維持資金募金の継続実施に関する件
		6. 遺贈等による寄付制度を設けることに関する件
		7. 平成24年度跡見学園事業計画に関する件
		8. 平成24年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		9. 跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件(平成25年4月1日実施)

2) 評議員会

開催日	会議	議案
平成23年5月24日	308回	1. 平成22年度跡見学園事業実績の報告に関する件 2. 平成22年度跡見学園収支決算報告に関する件
平成23年5月31日	309回	1. 寄附行為第19条の2第4号及び第19条の2第5号に規定する評議員選任に関する件
平成23年6月14日	310回	1. 第21期評議員会の議長選任に関する件 2. 寄附行為第8条第2項に規定する理事選任に関する件 3. 寄附行為第8条第3項に規定する理事選任に係る評議員会の意見聴取に関する件 4. 寄附行為第9条に規定する監事選任に係る評議員会の意見聴取及び同意に関する件
平成23年6月21日	311回	1. 第21期役員及び評議員改選終了報告に関する件
平成23年10月25日	312回	1. 平成23年度跡見学園収支補正予算に関する件 2. 平成24年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件 3. 主事の職名変更等に伴う関係規程の一部改正に関する件 4. 学生寮の閉寮に関する意思表示及び新たな学生寮の検討に関する件
平成24年3月27日	313回	1. 選任区分変更に伴う寄附行為第8条第3項に規定する理事選任（学識経験者）に係る評議員会の意見聴取に関する件 2. 大学新座キャンパス1号館の耐震改築事業に関する件 3. 跡見学園教育施設維持資金募金の継続実施に関する件 4. 遺贈等による寄付制度を設けることに関する件 5. 平成24年度跡見学園事業計画に関する件 6. 平成24年度跡見学園収入支出予算案に関する件 7. 跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件

(2) 跡見学園中学校高等学校の職名「主事」を「副校長」に名称変更することについて

学園において、中学高校の主事は、学校制度上の副校長又は教頭を意味し、職務上の学園理事ともなる重要な職名として取り扱われてきたところであるが、その職名から外部の方の正しい理解が得られない状況（誤解を与えやすい状況）があったことから、第312回評議員会及び第358回理事会（平成23年10月25日）の議を経て、平成24年4月1日から、主事について「副校長」に職名変更すべく寄附行為変更の認可申請を行った。

申請先 文部科学省
申請日 平成23年12月15日
認可日 平成24年1月31日

(3) 人事関係

1) 職員人事評価制度実施に係る研修の実施 (🌸)

①第2回研修（実施直前フォローアップ研修）

この研修は、本来は平成22年度末（平成23年3月）に実施する予定であったが、東日本大震災の影響により、3月中の実施を取り止め、4月に順延したものである。

a) 被評価者研修

対象：一般事務職、調査役、主任（事業部主任を除く）、課長代理（学生課長代理を除く）、臨時職員、用務職員

日時：〔新座キャンパス〕

4月19日（火）午前の部（9：30～12：10）3155教室 22名
午後の部（13：30～16：10）3155教室 21名

〔文京キャンパス〕

4月20日（水）午後の部（13：30～16：10）2号館2301教室 16名

4月22日（金）午前の部（9：30～12：10）2号館2301教室 20名

*各自業務を勘案していずれかに出席

- 内容：1. 人事評価制度の概要確認とポイント確認
 2. スケジュールと役割説明
 【演習】能力開発に向けての自己目標設定
 【演習】目標・手段の記述ポイント
 3. 被評価者としての心構え

b) 課長職研修

対象：文京キャンパスディレクター、課長、学生課長代理、事業部主任

日時：〔新座キャンパス〕

4月18日（月）9：00～12：30 3155教室 7名

〔文京キャンパス〕

4月22日（金）13：30～17：00 2号館2301教室 8名

- 内容：1. 人事評価制度の概要確認とポイント確認
 2. スケジュールと役割説明
 3. 評価者の心構え
 【演習】評価事実収集
 4. 人材育成としての活用と評価者の役割
 【演習】育成行動の確認
 5. 目標設定候補の承認と組織目標のマネジメント
 【演習】目標・手段の記述ポイント

c) 部長職研修

対象：大学副学長、中高主事、大学事務局長、事務方の部下を有する部館長

日時：4月25日（月）9：30～12：10、文京キャンパス2号館2301教室 10名

- 内容：1. 人事評価制度の概要確認とポイント確認
 2. スケジュールと役割説明
 3. 評価者の心構え
 4. 評価事実の収集
 5. 人材育成としての活用と評価者の役割
 6. 育成行動の確認
 7. 目標設定候補の承認と組織目標のマネジメント

②第3回研修（直前評価研修）

a) 課長職研修

対象：文京キャンパスディレクター、課長、学生課長代理、事業部主任 14名

日時：1月24日（火）13：00～16：30 文京キャンパス2号館2705教室

- 内容：1. 評価のレベル合わせ
 2. コメント記入の仕方

b) 部長職研修

対象：中高主事、校務部長、大学情報メディアセンター長、中高庶務課長 4名

日時：1月21日（土）9：15～12：45、文京キャンパス2号館2301教室

対象：大学副学長、事務方の部下を有する大学部館長、大学事務局長 6名

日時：2月7日（火）13：00～16：30、文京キャンパス2号館2301教室
内容：1. 評価のレベル合わせ
2. コメント記入の仕方

2) 職員人事評価制度実施に係る評価者会議の実施

① 第一次評価者会議

a) 法人事務局第一次評価者会議

日時：2月18日（土）9：00～10：30、法人棟2階会議室
参加者：法人事務局長（主宰者）、法人総務部長、法人各課長、能率協会講師

b) 中高第一次評価者会議

日時：2月18日（土）10：40～12：30、法人棟2階会議室
参加者：主事（主宰者）、法人事務局長、法人総務部長、中高庶務課長、能率協会講師

c) 大学第一次評価者会議

日時：2月20日（月）9：15～12：45、新座キャンパス1号館1130会議室
参加者：大学事務局長（主宰者）、文京キャンパスディレクター、法人事務局長、法人総務部長、大学各課長、能率協会講師

② 第二次評価者会議

日時：2月25日（土）9：00～12：30、法人棟2階会議室
参加者：学長、副学長、大学事務局長、中高主事、法人事務局長、法人総務部長、能率協会講師

(4) 学生寮

1) 学生寮の閉寮及び新たな学生寮の検討について

現在の学生寮（3階建 133名収容 新座市野火止）については、平成28年3月31日を契約期限として「建物等賃貸借契約」（所有者である神杉孝子氏が直接賃貸人）締結しているところであるが、契約終了後の平成28年4月1日以降については、現在の学生寮を平成28年3月31日をもって閉寮し、立地、規模、施設設備、運営方法を勘案して、別途、改めて新たな学生寮を検討することについて、理事会（第358回）の了承を得た。また、「学生寮検討委員会（理事長諮問機関）」を設置した。

学生寮検討委員会

委員	大	学	村田あが（学務部長）
			内山康和（事務局長）
			障子 恵（学生課長代理）
	法人事務局	詫磨 学（総務部長）	
		森 進（施設管理課長）	

※必要に応じ、大塚 博大学副学長がメンバーに加わる。

(5) 跡見学園規定等の変更

1) 学園関係

① 「跡見学園個人研究費規程」等の一部改正

平成23年6月7日（火）経営会議において了承
施行日 平成23年6月1日

② 「外国出張旅費に関する内規」の一部改正

- 平成23年6月7日（火）経営会議において了承
施行日 平成23年6月1日
- ③「個人研究費の執行等に関する内規」の一部改正
平成23年6月7日（火）経営会議において了承
施行日 平成23年6月1日
- ④「学校法人跡見学園非常勤講師給与規定」の一部改正
平成23年6月7日（火）経営会議において了承
施行日 平成24年4月1日
- ⑤「跡見学園通勤手当支給規定」の一部改正
平成23年6月7日（火）経営会議において了承
施行日 平成23年6月1日
- ⑥「学校法人跡見学園非常勤講師給与規定」の一部改正
平成23年6月14日（火）経営会議において了承
施行日 平成24年4月1日
- ⑦「学校法人跡見学園嘱託職員定年規程」の一部改正
平成23年9月27日（火）経営会議において承認
施行日 平成23年9月1日
- ⑧「学校法人跡見学園組織規程」の一部改正②
平成23年11月22日（火）経営会議において了承
実施日 平成24年4月1日
- ⑨「学校法人跡見学園安全衛生管理規程」の新設
平成24年1月17日（火）理事会において了承
実施日 平成24年4月1日
- ⑩「学校法人跡見学園給与規定」の一部改正②
平成24年1月24日（火）経営会議において了承
施行日 平成24年4月1日
- ⑪「学校法人跡見学園組織規程」の一部改正③
平成24年2月28日（火）経営会議において了承
実施日 平成24年4月1日
- ⑫「学校法人跡見学園経理規程」の一部改正
平成24年3月27日（火）理事会において了承
施行日 平成24年4月1日

2) 女子大学関係

- ①「跡見学園女子大学学長候補者選考規程」の一部改正
平成23年9月27日（火）全学教授会において了承
施行日 平成24年4月1日
- ②「跡見学園女子大学学長候補者選挙管理委員会規程」の一部改正
平成23年9月27日（火）全学教授会において了承
施行日 平成24年4月1日
- ③「専任教員の責任担当コマ数に関する運用基準」の一部改正
平成23年10月4日（火）経営会議において了承
施行日 平成23年10月1日
- ④「跡見学園女子大学においてTAを配置する授業科目を定める規則」の一部改正
平成23年7月12日（火）経営会議において了承

施行日 平成22年4月1日（遡及して適用）

3) 中学校高等学校関係

① 「跡見学園高等学校学則」の改正について

平成24年3月27日（火）理事会・評議員会において了承

施行日 平成25年4月1日

4) 主事の職名変更に伴う関係規程の一部改正

① 「学校法人跡見学園寄附行為」の一部改正

② 「学校法人跡見学園寄附行為施行細則」の一部改正

③ 「跡見学園高等学校学則」の一部改正

④ 「跡見学園中学校学則」の一部改正

⑤ 「学長・校長・副学長・中学校高等学校主事任命規程」の一部改正

⑥ 「学長・校長・副学長・中学校高等学校主事の任期に関する規程」の一部改正

⑦ 「跡見学園職員定年規程」の一部改正

以上平成23年10月25日（火）評議員会・理事会において了承

施行日 平成24年4月1日

⑧ 「学校法人跡見学園組織規程」の一部改正①

⑨ 「学校法人跡見学園文書取扱規程」の一部改正

⑩ 「学校法人跡見学園収益事業部運営規程」の一部改正

⑪ 「跡見学園中学校高等学校の専任教員の責任担当授業時間に関する規程」の一部改正

⑫ 「跡見学園中学校高等学校セクシュアル・ハラスメントの防止対策に関する規程」の一部改正

⑬ 「跡見学園女子大学学長候補者選考規程」の一部改正

⑭ 「跡見学園中学校高等学校における役職の任命等に関する規程」の一部改正

⑮ 「跡見学園中学校高等学校嘱託講師規程」の一部改正

⑯ 「派遣職員の取扱いに関する内規」の一部改正

⑰ 「学校法人跡見学園給与規定」の一部改正①

⑱ 「学校法人跡見学園調達規程」の一部改正

⑲ 「学校法人跡見学園出張規程」の一部改正

⑳ 「外国出張旅費に関する内規」の一部改正

以上 平成23年9月6日（火）経営会議において了承

施行日 平成24年4月1日

(6) 第21期役員改選及び代表権者の登記について

平成23年6月21日開催の第357回理事会における監事選任の確認をもって、寄附行為に基づく学校法人跡見学園第21期役員及び評議員の選任手続きを完了し、当法人の代表権者の登記及び所轄庁への届出を行った。

代表権者 理事長 山崎一穎

事業理事 堀 雅裕

登記日 平成23年7月13日（水）

所轄庁 文部科学省、東京都

(7) 調査

1) 事業系廃棄物に関する立入調査

調査年月日 平成23年11月16日（水）

調査内容 事業系廃棄物の処理状況についての調査
調査機関 文京区資源環境部リサイクル清掃課
調査結果 法人棟横のゴミ集積所の可燃ゴミの中に再利用可能な紙類が含まれており、これを分別するよう指摘があった。

2) 新座消防署の大学新座キャンパスへの立入検査

検査年月日 平成23年6月16日(木)午後
検査担当者 新座消防署員 4名
調査内容 新座キャンパス各施設の消防設備についての調査
検査結果 「消火、通報及び避難訓練の未実施」についてのみ、違反指摘事項として指摘されたため、早急に、防火避難訓練を実施するための消防計画を作成し提出した。また、資格保有者複数要請方針に基づき、新たに大森庶務課長が防火管理者資格を、また宮田伸一主任が上位資格である防災管理者資格を取得した。なお、避難マニュアルの整備についてはお褒めの言葉を頂いた。

(8) 学園における省エネの取り組みについて

学園は電気事業法第27条による電気使用制限及び平成23年度から改正省エネ法による特定事業者の指定を受けたことにより、選任が義務づけられているエネルギー管理統括者(法人事務局長)及びエネルギー管理企画推進者(施設管理課長)を中心とするエネルギー管理体制の下、電気を中心に省エネを実施した。

【夏季】

エネルギー管理体制の重複を避けるため、同じエネルギー管理体制で臨むこととし、冷暖房設定温度は原則26℃、緊急時には強制的に28℃(政府推奨値)とする権限を、各機関管理責任者(法人:森課長、中学高校:伊東校務部長、大学文京:秋山CD、大学新座:内山局長)に付与し、各機関にあっては、この各機関管理責任者の指揮の下、「省エネ対策実施要領」及びこれに基づく各機関の節電方針を遵守し、節電行動をとった。また、電力の使用制限値の超過を未然に防ぐため、デマンド警報発生レベルを使用制限値よりも下位に引き下げ、警報が出た場合には速やかに周知し、警報が出ないレベルになるまで、優先順位に従って使用電力を更に削減した。

【冬季】

省エネ法(「エネルギーの使用の合理化に関する法律」)の適用を受ける特定事業者であることから、前年度比1%以上のエネルギー使用削減が求められたため、ウォームビズの推奨、空調室温の20℃設定、長時間離れる際の空調停止、低層階におけるエレベータの使用制限など、各機関の実情に合わせて節電行動をとった。

年間トータルでは前年度比81.34%の電気使用量であり、8割という目標はほぼ達成できたかと思われる。

(9) 財務シミュレーションシステムの開発と活用 

10年以内に訪れる18歳人口の更なる急減をにらみ、今後の収支見通しから長期的に健全で安定した財務を確保するため、経営に必要な入学者確保を前提に、将来予測される様々な施設・設備の保守、人員確保のほか、耐用年数を経過した施設・設備の更新や新規取得等の必要も視野に入れて、平成22年度決算及び平成23年度当初予算を起点とする財務シミュレーションを行い、将来的な資金力についても検証した。

(10) 学園正門前の歩道拡幅に伴う正門から法人棟までの外溝・地盤改修工事におけるアスファルト舗装について

学園正門前の歩道拡幅に伴う正門から法人棟までの外溝・地盤改修工事におけるアスファルト舗装が5月8日（日）に完了した。

(11) 学園におけるホームページのリニューアルについて

近年はホームページを含めた情報環境が日々進化しており、また、ステークホルダーが求める情報や収集ツールも多様化し、その環境に対応する情報発信者側の工夫が求められている状況であるため、対外的に統一感を出したものとして学園（含大学、中学校高等学校）ホームページをリニューアルする。リニューアル推進のために「学園ホームページ再構築推進委員会」を12月に立ち上げ、リニューアルについて具体的に検討している。リニューアル後のホームページの維持・管理について必要な組織についても併せて検討する。リニューアル完了予定：平成24年12月

学園ホームページ再構築推進委員会

委員	大 学	大塚 博（副学長）
		村田 宏（人文学科教授）
		大村麻子（庶務課書記）
	中 高	住川明子（主事）
		吉岡垂衣（英語科教諭）
		西村 大（庶務課書記）
	法人事務局	堀 雅裕（事務局長）
		今村早苗（庶務課主任）
		石田育子（企画課書記）

(12) 学園広報関係（）印は平成23年度事業計画事業）

1) 学園情報誌『ブロッサム』の発行（17,015,080円）（）

学園広報誌として7月に31号（特集：茗荷谷ヒストリー）・1月に32号（特集：自律した女性を育てる～コミュニケーションスキルトレーニング～）を各々65,000部発行した。主な配布先は、生徒・学生、学園卒業生、学園関係者、高等学校、企業等である。31号には学園の財務情報を公開したほか、各設置校の最新の情報を提供した。

2) 『跡見学園報』の発行（929,460円）

学園報第52号を7月に発行した。また同号「別冊」において、平成22年度事業報告及び平成23年度事業計画を公表した。

平成23年1月、学園報第53号を発行した。

3) Web環境の整備（）

- ・学園ホームページに、平成23年7月22日（金）付で、平成22年度事業報告書・平成23年度事業計画書を公開した。また、学園情報誌『ブロッサム』についても31号は平成23年7月28日（木）付、32号は平成24年1月10日（火）付で学園ホームページに公開した。
- ・校友メールマガジン「あとみネット」は、No.509からNo.552まで配信した。
- ・学園ホームページをリニューアルして、各機関（大学・中高）のホームページとの統一感を持たせるようにした。
- ・前年度に引き続き、早期化する学生募集の活動に対応するため、「進学ネット」へ参画した。

4) イメージ広告等

①交通広告（13,056,510円）

昨年度に引き続き、「A」のロゴ（デュアルキャンパス）をメインに使用した学園広告を以下の通

り掲出した。

企画内容	実施時期	備考
東急エチケットボード	平成23年4月1日～平成24年3月31日	<掲出駅> 渋谷・自由が丘・二子玉川・あざみ野・日吉・綱島
東京メトロ車内ビジョン (車内液晶モニター広告)	平成23年7月1日～7月15日 平成24年1月1日～1月15日	<掲出路線> 東京メトロ有楽町線・副都心線・丸ノ内線・東西線・千代田線等の新型車両
Big8 (大型ポスター)	平成23年7月4日～7月10日	<掲出駅> 渋谷 (東横線)
Big10 (大型ポスター)	平成23年12月26日～平成24年1月8日	
フレコミボード	平成23年7月5日～7月11日	5 私鉄 (東急・小田急・京王・相鉄・京急) 43駅の専用ボード
大学連合企画	平成23年7月4日～7月11日 平成23年12月2日～12月15日	JR埼京線中吊りポスター
	平成23年7月11日～7月17日 平成23年12月9日～12月15日	西武全線・小田急全線中吊りポスター
	平成23年12月5日～12月11日	JR主要31駅ポスター
JR駅貼りポスター	平成23年7月4日～7月10日	<掲出駅> 東大宮・大宮・上尾・北本・鴻巣・深谷

②グッズ (13,157,130円)

前年度方針の継承を基本とし、PPV手提袋、ロゴ入りシャープペン・フリクションカラーペン、オリジナルデザインのあぶらとり紙セット・ミンティア・クリアファイル (封筒型)・ココフセンを制作した。また、防災・防犯関連の新グッズとしてロゴ入りフラットホイッスルを、夏の猛暑対策として香り付きうちわ (オリジナルデザイン、ローズの香り付き) を新規作成した。このほか、各機関から要望として出てきたグッズとして、中学受験生向けに鉛筆3本セットや五角 (合格) 鉛筆2本セット、大学のオープンキャンパスなどのイベントで使用するのぼり・ミニのぼり・手旗を新規作成した。

③一般雑誌広告 (1,197,000円)

昨年度に引き続き『新週刊マンガ日本史』(第34号・平賀源内、40号・篤姫、46号・渋沢栄一) の表4 (裏表紙) に広告を掲出した。

④その他新聞・雑誌・Web等の広告掲出 (13,860,550円)

中学・大学・大学院入試に関心のある受験生・保護者が多数見るとを想定し新聞・雑誌等に広告を掲出した。

5) 駅看板 (🌸)

例年通り16駅に年間掲出広告 (駅看板) を掲出した。

(13) 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設設備関係

①春日通り拡張に伴う正門側改修工事 (35,910,000円) (🌸)

春日通り拡張工事に伴い、給排水・電気通信設備の位置修正、スロープ・舗装の打ち直し等を実施した。

②外壁劣化診断 (1,036,350円) (🌸)

建築基準法第12条に基づく定期報告制度の変更 (H20.4～) に従い、赤外線による外壁劣化診断を実施した。

2) 情報環境整備関係

①学園ネットワーク機器リプレイスに伴う機器購入業者の選定 (🌸)

昨年の東日本大震災とそれに伴う計画停電の実施により、学園全体のネットワークが度々寸断し、業務や外部との連絡に多大な影響が出たことに鑑み、学園全体のネットワーク機器がリース満了を迎

えるに合わせて学内サーバをできる限り学外のデータセンターへ移設し、停電や障害にも強い冗長性のあるネットワークを再構築することについて4社による見積もり合わせ及びプレゼンを行い、業者を内定した。

3) 北軽井沢研修所

①地下階給水湯配管改修工事（第2期）（3,391,500円）〈☀〉

経年のサビ・スケールにより配管閉塞状態となっていた地下階給水湯配管について、昨年浴室（及び男子脱衣所）の改修を行なったので、今年度も引き続き給水湯配管について改修を実施した。

4) 学生寮

①AED1台の購入（336,000円）〈☀〉

万が一の際に寮教職員年度予算管理人又は寮生が初期対応をできるようにするため、AED一式を購入した。

②機械警備導入（2,722,440円）

平成22年に寮生が近隣スーパー前で強盗被害に遭ったため、寮生への防犯指導を徹底してきたが、寮内外に対する「見せる警備」「実効性ある警備」によりセキュリティを強化し、“安全と安心”を確保するため、セコム機械警備の導入を実施した。

(14) 各種補助金の獲得について

交付元	補助金名	対 象	内 容	交付額※
日本私立学校振興・共済事業団	平成23年度 私立大学等経常費補助金	大 学	一般補助及び特別補助（被災者を対象とした）「学費減免に対する経常費補助」他	251,041千円
日本私立学校振興・共済事業団	平成23年度 学術研究振興資金	大 学	研究課題「生物多様性に配慮した サプライチェーンマネジメント」 研究代表者 宮崎正浩（マネジメント学部教授）	50千円
文部科学省	私立学校建物其他 災害復旧費（応急仮設校舎等整備事業）補助金	大 学	東日本大震災の応急的整備として、新座キャンパス1号館のエキスパンションジョイント部の亀裂剥離の補修他	3,128千円
東京都	平成23年度 結核予防費都費補助金	大 学 文京C	文京キャンパスで健康診断（胸部X線）を受診した大学1年生及び編入生に対する人数分の補助	336,303円
東京都	私立学校 施設設備費補助金	中 高	中高大アリーナ 天井照明高効率化工事	5,328千円
東京都	平成23年度 私立学校経常費補助金	中 高	一般補助及び特別補助	440,998,600円
東京都 私学財団	私立学校防災用品 緊急整備費助成金	中 高	大人1人が3日間生き延びる為に必要十分な食料、飲料水、ブランケットのセット「アークⅢ」の購入に対する補助	270千円
東京都	私立学校被災生徒等 授業料等減免補助金	中 高	東日本大震災の被災者を対象とした学費減免実施に対する補助	270千円
東京都 私学財団	私立学校 ICT整備費助成金	中 学	電子黒板の購入設置 設置教室：401選択教室	546千円
東京都	平成23年度 結核予防費都費補助金	高 校	健康診断（胸部X線）を受診した1年生及び編入生に対する人数分の補助	83,496円


※実績額の確定は次年度となる場合がある。

(15) 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）について

平成23年3月11日発生した東日本大震災は平成23年度の学園事業にも大きく影響した。校舎等の一部にみられた小破については応急的な補修をおこない、女子大学は春学期期間を平成23年5月6日から8月4日までに変更し授業を再開した。また、自宅（実家）の倒壊・震災・原発による非難および地域液化の被災状況に鑑み、女子大学及び中学校高等学校は学生・生徒の授業料減免を実施した。更に、学

園の既存建物の耐震診断の結果、女子大学新座キャンパス1号館については、耐震強度をあげるために4、5階の一部分を撤去する「減築」工事を実施することが決まった。防災についての意識も高まり、帰宅困難者のための3日間分食料、水、ブランケットのセット「アークⅢ」を大学、中高に早速備蓄し、北軽井沢研修所にも水や食料品等を備蓄した。学園内の情報設備についても、震災時の停電経験を踏まえ、災害時の情報伝達が確実におこなわれるよう、サーバのクラウド化が決定した。

2. 女子大学

() 印は平成23年度事業計画事業)

(1) 教育研究関係

1) 学部等の改革 ()

①平成22年度設置学科とその経過 ()

イ) 文学部 現代文化表現学科

文学部現代文化表現学科を平成22年度に開設し、初年度は114名の1年生を迎えた。2年目となる23年度は、116名の1年生を迎えた。

ロ) マネジメント学部 観光マネジメント学科

マネジメント学部観光マネジメント学科を平成22年度に開設し、初年度は108人の1年生を迎えた。2年目となる23年度は、107名の1年生を迎えた。

②「平成26年度改革」の準備 ()

将来問題検討会議への諮問

平成26年度を目標とした「跡見学園女子大学将来構想」が経営会議にて了承され、これらを検証・具体化するために発足した「将来問題検討会議」に対し、「検討事項(1)教育課程について」「検討事項(2)平成14年度以降の教育課程の総括と学部学科編成について」諮問した。将来問題検討会議から出された答申について、経営会議に報告した。また、外部有識者も加えた「学部設置準備委員会」が発足した。

2) 諸規程の点検・整備 ()

平成19年度に作った「跡見学園女子大学における公的研究費の不正使用防止に関する方針」および「跡見学園女子大学公的研究費不正使用調査規程」について、あらためて点検し、整合性を図った。

3) カリキュラムの点検 ()

①平成22年度カリキュラムの点検

「将来問題検討会議」において、現行カリキュラムの点検、評価を行った。

4) 教育研究支援 ()

①教員評価制度の導入(4年目)から教員評価結果の反映へ ()

平成20年度以来実施している教員評価を踏まえ、23年度は、19年度答申を現実化させるため、評価シートの作成や評価対象となる業績内容の精査を行った。

②教育研究支援体制の充実 ()

イ) 跡見英会話サロン(2年目)

英語の授業で英会話スキルを修得した学生に対して、その後も大学内でそのスキルを実践する場を大学として提供するために、ベルリッツ・ジャパン(株)との業務委託により「跡見英会話サロン」を開設し、学生に広く活用された。23年度は、開室曜日、時間の変更等利用者の利便性を図った。

③FD活動の継続実施 ()

全学共通科目運営センター、学部においてFD研修会・FD講習会等を継続的に実施した。また、FD実践報告集として『FDジャーナル』(第10号)の編集作業をおこなった。

5) 学生支援 〈❁〉

①学生会による学長と語る会の実施

平成23年度は実施されなかった。

②一紫会による修学援助奨学金の継続 〈❁〉

	申請者	採用者
第一種	1	0
第二種	25	5

上記申請者のうち、第一種1名、第二種18名が後援会による修学援助奨学金と併願しており、当該学生はすべて、後援会修学援助奨学生として採用された。

③後援会による奨学金の継続 〈❁〉

春学期	申請者	採用者
第一種	6	6
第二種	28	16

秋学期	申請者	採用者
第一種	5	5
第二種	27	27

④東日本大震災にかかる授業料減免措置と見舞金

東日本大震災で被害を受けた27名の学生に対し授業料減免措置を、45名の学生に見舞金を贈呈した

⑤就職支援体制の全学的取り組み 〈❁〉

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラムに係る補助金交付が平成22年度で終了し、大学としては引き続き就職支援推進のため、「筆記試験対策講座」の継続実施、専門のキャリアカウンセラーの配置など予算措置を講じた。

⑥防災関係

学生配布用「大地震対応マニュアル」を作成した。(平成24年度全学生に配布)

6) 学園140周年、大学50周年記念行事の準備 〈❁〉

①大学50年史の刊行準備 〈❁〉

平成24年度において引き続き検討する。

7) 学術・学会等関係 (主な大会の開催等)

文京キャンパスの利便性の良さとは良好な施設・設備が学術学会、団体等に支持され、多くの大会等が開催された。

主な学会等

- ①環境経営学会研究報告大会が5月28日(土)、29日(日)に開催された。
- ②日本LD学会第20回大会が9月17日(土)から19日(月 祝日)に開催された。
- ③日本教育カウンセリング学会が10月16日(日)に開催された。
- ④日本子ども健康科学学会学術大会12月17日(土)、18日(日)に開催された。

(2) 管理・運営 〈❁〉

1) 大学管理・運営の点検・整備 〈❁〉

職員組織におけるガバナンスを徹底させるために、課長会を定例化した。大学の主任職を対象に主任研修を実施した。

2) 事務組織の点検に基づく将来構想 〈❁〉

環境整備課を撤廃し、法人施設管理課および大学庶務課に業務の振り分けを行った。

(3) 学外団体との交流 〈❁〉

- 1) マネジメント研究科と立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科との協定継続 (✿)
両大学院研究科の間で締結した単位互換制度にもとづき単位互換を行った。
- 2) 埼玉県私立大学連絡協議会の継続 (✿)
埼玉県私立大学連絡協議会の諸活動を通じて、埼玉県及び県内大学との交流を推進した。
- 3) 彩の国大学コンソーシアムの継続 (✿)
「単位互換分科会」、「公開講座分科会」に継続して所属。
 - ①2011年彩の国大学コンソーシアム公開講座 ～知的、快適生活のススメ～
平成23年9月26日(月) 15:10～16:30 於:川越ソルト
演 題 『『源氏物語』の魅力 ～時代を生きる人々の物語～』
講 師 文学部人文学科 植田恭代 准教授
受講者数 75名
 - ②事務職員研修会
平成23年度は実施せず。
 - ③公開講座分科会
平成23年12月5日(月) 於:跡見学園女子大学
平成24年1月23日(月) 於:跡見学園女子大学
 - ④学長会
平成23年10月31日(月) 於:川越プリンスホテル
平成24年3月29日(木) 於:川越プリンスホテル
 - ⑤実務者会
平成23年10月31日(月) 於:川越プリンスホテル
平成24年3月29日(木) 於:川越プリンスホテル
- 4) 文京区内大学との交流 (✿)
お茶の水女子大学と相互利用に関する覚書を結び、図書館を相互利用している。(平成21年4月から継続)
- 5) 埼玉県内大学との交流 (✿)
十文字学園女子大学図書館情報センターと図書館の相互利用に関する覚書を結んだ(実施は平成24年4月から)
- 6) 高等学校との交流(高大連携への対応) (✿)
高等学校での出張講義を19校で実施した。
- 7) 国際交流体制 (✿)
 - ①国際交流の一環として、引き続き海外(語学)研修を実施した。
 - ・上海大学国際交流学院(中国)
期 間 平成23年8月6日(土)～8月27日(土)
参加者 4名
 - ・英国国立スターリング大学(イギリス)
期 間 平成23年8月6日(土)～8月30日(火)
参加者 12名
 - ②夏期海外語学研修における中国新規提携大学の開拓 (✿)
跡見学園女子大学全学共通科目運営センターは中国北京語言大学と協定書を結び、平成24年度の夏期海外語学研修の覚書を交わした。

(4) 地域との交流 (✿)

- 1) 文京区と「学校法人跡見学園 跡見学園女子大学と文京区との相互協力に関する包括協定」を締結した。

2) 新座警察署と「女子学生安全対策協定」を締結した。

3) 文京アカデミア（大学キャンパス講座）の実施

平成23年度から、地域社会（東京都文京区）とのいっそうの連携を図る観点から、（財）文京区アカデミアが主催する「文京アカデミア」（大学キャンパス講座）に参加し、下記の通り公開講座を実施した。

①文京アカデミア講座（前期）

開催日 平成23年5月30日～6月27日 毎週月曜日 [全5回]

場 所 文京キャンパス M2302教室

テーマ 「能楽と近代演劇」

講 師 文学部現代文化表現学科 横山太郎 准教授

②文京アカデミア講座（後期）

開催日 平成23年11月18日～12月16日 毎週金曜日 [全5回]

場 所 文京キャンパス M2302教室

テーマ 「パワースポットと観光 霊地へのこだわり旅」

講 師 マネジメント学部観光マネジメント学科 小川 功 教授

〃 塩月亮子 教授

〃 鶴田雅昭 准教授

4) 茗荷谷図書館の文京区民への開放

平成23年度も継続して実施している。(平成22年度より実施)

5) 花蹊記念資料館の開放

平成23年度は171日間（うち土日祝日37日間）、花蹊記念資料館を一般開放し、一般観覧者に展示物の鑑賞、資料の閲覧貸出、刊行物の頒布等を行った。

6) 新座キャンパスの開放

平成23年3月1日～5月15日、土日祝日を含む76日間、新座キャンパスを桜見学のために一般開放し、880名が来場した。一般参加者に桜ガイドを配布した。

(5) 点検評価 (🌸)

1) 大学基準協会による評価に基づく改善 (🌸)

大学基準協会からの指摘に対して行った改善例は以下の通りである。

①教育理念の入試ガイドへの記載がないことについて、平成24年度（平成25年度入試ガイド）に掲載することを確定した。また「大学院学生便覧」において教育理念を「学生便覧」とは区別して掲載した。

②文学部臨床心理学科の「実習生倫理綱領」について、修正を行った。

③シラバスの記載の改善については、シラバスのより正確な記入を目指して、平成26年度を目途に現行のシラバスの記載事項の適切性を再検討する。

④教員組織の年齢構成の全体的バランスの改善については、平成24年度4月に着任する専任教員の採用にあたっては、両学部教員の年齢構成に鑑み、若手教員を積極的に受け入れた。

⑤副学長の職務権限が大学運営全体にわたっている点について、中期的な視点から検討を加える予定である。

2) 平成27年度大学評価に対する対応指針の策定 (🌸)

平成27年度大学評価に対する対応指針の策定について準備をしている。

(6) 図書館

1) 跡見学園女子大学の「百人一首コレクション」は、小倉百人一首から異種百人一首まで2,700点以上の資料を有し、貴重な写本、各種版本、卷子本、錦絵、かるた、双六、研究書など幅広いものであることから、1977年に国立国会図書館の『特殊コレクション要覧』に加えられ、一般にも日本有数のも

のとしての評価を得ている。

平成20年、これを保存環境の良好な新座図書館「特別資料室」に移し、「デジタル・アーカイブ化」にも着手した。デジタル・アーカイブ化したコンテンツを、大学ホームページを通じ公開している。平成21、22年度には内容の増補改訂を行い、平成23年度には、デジタル・アーカイブを基に画像データベースを作成し、同じく大学ホームページを通じ公開している。また平成23年度より特別資料費で購入した百人一首と跡見花蹊の新収資料展を開催している。

(7) 花蹊記念資料館

1) 企画展

平成23年 4月1日（金）～5月31日（火）

第一展示室＝学園創立者跡見花蹊の横顔

小企画＝①新コレクション展2011

②標本と写真で見る跡見のサクラ

第二展示室＝跡見純弘コレクション

〃 6月18日（土）～7月30日（土）、8月20日（土）

第一展示室＝第3回アトミ・アート展

第二展示室＝跡見花蹊 人と芸術 修業編

〃 9月29日（木）～11月5日（土）

第一展示室＝跡見廉書会—第5回OG作品展—

第二展示室＝跡見花蹊 人と芸術 立志編

〃 11月21日（月）～12月28日（水）

第一展示室＝中国宋代絵画展—原寸大複製による—収蔵作品公開

第二展示室＝跡見花蹊 人と芸術 詩藻編

平成24年 1月24日（火）～2月6日（月）

博物館実習生による模擬展示

〃 3月21日（水）～3月31日（土）

第一展示室＝跡見花蹊の書画を中心に

第二展示室＝桜の本と標本展（花蹊記念資料館・図書館共催企画）

(8) ATOMIアカデミック・インターンシップ

マネジメント学部での2年生、実践ゼミナール受講者425名が参加した。マネジメント学部は『アカデミック・インターンシップ2011 総括報告書』を作成した。

(9) 公開講座

一般者を対象として、次のとおり実施した。

1) 春学期（新座キャンパス）

①教養コース「現代社会の危機的状況とその対策—ヒト・カネ・文化をめぐるリスクマネジメント—」

平成23年 5月21日～6月4日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 111名

②パソコンコース「見やすいホームページを作ろう!」

平成23年 5月7日（土）・14日（土）[2週連続1講座]

受講者数 38名

③語学コース「英会話・中国語会話」

平成23年 5月14日～7月16日 毎週土曜日 [全10回]

受講者数（各クラス合計） 英会話62名 中国語会話22名

2) 春学期 (文京キャンパス)

①教養コース「クール・ジャパンを超えて—世界のなかの現代日本文化—」

平成23年6月11日～6月25日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 123名

3) 秋学期 (新座キャンパス)

①教養コース「王朝の恋とそのゆくえ」

平成23年10月8日～10月22日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 160名

②パソコンコース「Excel初歩の初歩」[2週連続1講座]

平成23年9月24日(土)・10月1日(土)

受講者数 38名

③語学コース「英会話・中国語会話」

平成23年10月1日～12月10日(10月29日除く) 毎週土曜日 [全10回]

受講者数(各クラス合計) 英会話56名 中国語会話31名

4) 秋学期 (文京キャンパス)

①放送と言葉

平成23年11月5日～11月19日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 65名

(10) 講演会・講習会

1) 全学共通科目運営センター

①FD講演会

日時 平成23年10月26日(水) 14:40～16:10

場所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ 「学生の主体的な学習をいかに育むか」

講師 杉原真晃氏(山形大学基盤教育院 准教授)

日時 平成24年2月22日(水) 14:40～16:10

場所 新座キャンパス2号館2171教室

テーマ 「効果的な英語教育を探る—英語Aコースと英会話サロンの実践報告から—」

講師 ウィテカー, ラトーニャ氏(本学兼任講師)

2) 文学部

①FD講演会

日時 平成23年11月9日(水) 14:40～16:10

場所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ 「『ひらく 日本の大学』

—調査結果が語る女子大学・文学部が抱える問題点と教育の今後の展望—」

講師 山上浩二郎氏(朝日新聞東京本社 社会グループ専門記者(教育・高等教育))

3) マネジメント学部

①第一回マネジメント学部FD講演会

日時 平成23年6月22日(水) 13:00～14:30

場所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ 「グローバルコンパクトとは」

講師 梅津光弘氏(慶応義塾大学商学部准教授)

4) 人文科学研究科日本文化専攻

①異文化交流フォーラム

第1回

日 時 平成23年7月9日(土) 15:15~17:30

場 所 文京キャンパス2号館 M2308教室

発表テーマ【西洋人のドレス：日本の着物 その意味するところは?】

第2回

日 時 平成23年11月26日(土) 15:00~17:30

場 所 文京キャンパス2号館 M2409教室

発表テーマ【韓流コミュニケーションと世界化—日本での韓流コミュニケーションを中心に】

講 師 田 昌禾氏(チョン・チャンホワー、日本大学非常勤講師・JCワールド代表取締役)

5) 図書館主催講演会

日 時 平成23年6月22日(水)

場 所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ 「学習の場としての図書館」

講 師 江川 和子氏(お茶の水女子大学附属図書館図書・情報リーダー)

6) 心理教育相談所主催講習会

◆一般対象講習会(全5回)

回	日 程	講 師	テーマ
1	6月11日(土)	松寄くみ子	こどもの自立を支える工夫
2	6月22日(水)	宮岡 佳子	女性のうつ病
3	6月25日(土)	片野 智治	心の輪(リング)
4	7月22日(金)	鶴 光代	からだところをを活かす—臨床動作法の基礎—
5	7月26日(火)	宮崎 圭子	対人関係のスキル —アサーション(さわやかな自己表現)のトレーニング—

(11) 学生による授業評価の実施

1) 春学期

実 施 日 平成23年7月22日(金)~28日(木)

実施科目数 723科目


履修登録者数 40,444名 回収数 31,959名 回収率 79.0%

2) 秋学期

実 施 日 平成24年1月23日(月)~1月28日(土)

実施科目数 646科目

履修登録者数 35,497名 回収数 26,689名 回収率 75.2%

(12) 保護者サービス 

1) 前年度に引き続き、保護者向けの「教育・進路説明会」を5会場で実施した。

①学外会場

・高崎会場

開催日 平成23年8月20日(土)

会 場 ホテルメトロポリタン高崎

参加者数 24名

・新潟会場

開催日 平成23年8月21日(日)

会 場 ホテルオークラ新潟

参加者数 14名

・宇都宮会場

開催日 平成23年8月27日(土)

会場 宇都宮ポートホテル

参加者数 31名

・仙台会場

開催日 平成23年8月28日(日)

会場 ホテルJALシティ仙台

参加者数 20名

②学内会場

開催日 平成23年10月22日(土)

会場 文京キャンパス2号館

参加者数 403名

2) 就職課の主催により3年生の保護者を対象とする「保護者のための就職セミナー」を開催した。

開催日 平成23年9月17日(土)

会場 文京キャンパス視聴覚ホール

参加者数 203名

(13) 広報関係及び懇談会等関係 

1) 桜まつり

平成24年3月31日(土) 一般市民・地域住民を対象とした「桜まつり」を開催した。

2) 高校教員対象大学説明会 

高等学校の進路指導教員を対象とした大学説明会を実施した。

第1回 開催日 平成23年6月3日(金)

開催時間 15:00~17:30

会場 新座キャンパス(コモンルーム)

参加者数 21名

第2回 開催日 平成23年6月7日(火)

開催時間 15:00~17:30

会場 文京キャンパス(M2301、多目的ホール)

参加者数 30名

3) オープンキャンパス

開催日 平成23年 5月28日(土) 新座キャンパス

〃 6月18日(土) 新座キャンパス

〃 7月9日(土) 文京キャンパス

〃 7月24日(日) 新座キャンパス

〃 7月30日(土) 文京キャンパス

〃 8月20日(土) 新座キャンパス

〃 8月21日(日) 文京キャンパス

〃 8月27日(土) 文京キャンパス

〃 9月10日(土) 文京キャンパス

〃 10月29日(土) 新座キャンパス

〃 11月26日(土) 文京キャンパス

平成24年 3月31日(土) 新座キャンパス

参加者数 3,639名(高校生他2,176名、保護者他1,463名)

4) 跡見学園中学校高等学校対象の大学説明会

跡見学園中学校高等学校の生徒・保護者を対象とした大学説明会を行った。

開催日 平成23年6月17日（金）

開催時間 15：10～16：30

会場 跡見学園中学校高等学校（跡見李子記念講堂、中高パソコン室）

参加者数 86名

5) 就職懇談会〈🌸〉

企業の採用担当者を対象とする「学生参画型」の就職懇談会を実施した。第一部は就職担当教職員による説明会と講演、第二部は懇談会を実施した。

開催日 平成23年11月15日（火）

出席者数 176名（企業86社90名、学生68名、法人・大学18名）。

会場 文京キャンパスプロッサムホール、茗溪会館

6) 入試アドバイザー制度〈🌸〉

この制度も今年度で13年目となり、入試アドバイザー（86名）による高等学校訪問（493校）を行い、志願者の確保に努めた。

(14) 施設設備・情報環境整備関係

1) 文京・新座キャンパス

(施設設備)

①地震被害に伴う補修工事（3,201,660円）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、新座キャンパス1号館2号館、食堂棟及び文京キャンパス1号館に建物破損が生じたため、授業開始に間に合うよう至急の補修作業を実施した。

②学生証のICカード化について（3,843,105円）

学生証の読取エラー率の改善、及び今後導入するシステムへの拡張性担保の観点から、現在は磁気カードにRFIDを貼り付けて運用中である学生証を、平成24年度に向けて全学生同時にICカード化した。

③学生証のICカード化に伴う図書貸出システムの改修（529,200円）

平成24年度4月より大学の学生証をICカード化することに伴い、必要となる図書貸出システムのリーダー更新及び設定変更を実施した。

④学生証のICカード化に伴う図書館入館システムの改修（1,529,850円）

平成24年度4月より大学の学生証をICカード化することに伴い、必要となる図書館の入館システムのリーダー更新及び設定変更を実施した。

(情報環境整備)

なし

2) 新座キャンパス

(施設設備)

①機械警備導入（14,526,372円）〈🌸〉

2年続いて発生した学内窃盗事件を受けて防犯対策を見直した結果、機械警備導入すべきとの結論となったため、セコム警備システムの導入を実施した。

②2号館8教室AV設備設置に伴う電源工事（346,500円）〈🌸〉

2号館8教室へのAV設備の設置に伴い電源が不足するため、電源増設を実施した。

③1号館平屋部分屋上手摺塗装工事（966,000円）

1号館屋上の手摺に相当の錆がでているため、外観の向上および強度保持を目的として塗装を実施した。

④守衛所庇新設工事（1,470,000円）〈🌸〉

守衛所に庇が無く、日中の陽射しの差込や、雨天時の対応に不便が生じているため、庇を設置した。

⑤消防設備改修工事 (599,655円)

消防設備点検において確認された不具合箇所の改修を実施した。

⑥体育館用ペーパーライザー更新 (1,816,500円) 〈※〉

体育館の給湯及び暖房に利用していたペーパーライザーが経年により老朽化しており故障が多くなってきていることと、また2005年度に部品供給も終了していることから、更新を実施した。

⑦クラブハウス自動火災報知設備受信基盤更新 (777,000円)

新座キャンパスの消防設備点検において、クラブハウスの自動火災報知設備受信機盤に不具合が確認されましたが、廃盤となっており補修ができないため、更新を実施した。

⑧食堂棟空調機更新 (12,075,000円) 〈※〉

食堂棟は建築後30年が経過し、仮に故障しても部品供給が終了していることから修理不可能な空調機があるため、更新を実施した。

⑨食堂棟屋上防水工事 (18,690,000円) 〈※〉

食堂棟は建築後30年が経過し、経年劣化やカラスによる屋上の防水の破損が著しく、放置すると防水層に穴が開き水が建物内部に侵入してしまう恐れがあるため、防水補修を実施した。

⑩新座キャンパス受変電設備補修工事 (7,497,000円)

受変電設備は経年劣化による浸水や過電流遮断設備の作動不良などが懸念されるため、補修を実施した。

⑪新座キャンパス1号館 耐震診断 (8,557,500円)

新耐震基準が適用開始された昭和56年以前の建築物となる、1号館の耐震診断を実施した。

⑫新座キャンパス1号館耐震化事業設計業務委託 (13,293,000円)

1号館の耐震診断結果が判明し、改修を行うことにより十分な強度を確保できることが判明したため、耐震化のための設計を委託した。

⑬食堂棟厨房機器更新及び内装部分補修工事 (8,253,000円)

食堂棟のリニューアルに伴い、厨房機器の更新および老朽化した内装の部分補修を実施した。

⑭食堂棟1階内装・照明改修工事及び什器更新 (41,436,648円)

食堂棟は設置から30年が経過し、内装やレイアウトが本学のブランド、学生のニーズにそぐわなくなっていたため、1階の内装・照明の改修工事および机・椅子の更新を実施した。

(情報環境整備)

①心理教育相談所SPSSライセンス購入 (332,640円) 〈※〉

リース期間満了に伴いライセンスを購入した。

②大学院生及び一般教室貸出用PC更新 (7,131,684円) 〈※〉

リース期間満了に伴い機器を更新した。

③心理教育相談所PC更新 (737,310円) 〈※〉

リース期間満了に伴い機器を更新した。

④2号館8教室用ノートPC購入 (1,590,750円) 〈※〉

1号館の立て替えを見越し、2号館の2・3階の計8教室について、様々な授業形態に対応できるよう、計8台のPCを購入した。

⑤2号館8教室AV設備の設置 (11,067,000円) 〈※〉

1号館の立て替えを見越し、2号館の2・3階の計8教室について、様々な授業形態に対応できるよう整備する必要があることから、AV設備を設置した。

⑥証明書自動発行機更新 (15,697,500円) 〈※〉

リース期間満了に伴い機器を更新した。

⑦教材作成ラボ機器更新 (12,474,000円) 〈※〉

リース期間満了に伴い機器を更新した。

3) 文京キャンパス

(施設設備)

① 1号館図書館書庫1階打ち継部分漏水補修工事 (525,000円)

1号館 図書館書庫の1階壁と床の打ち継部分に、漏水が見受けられる箇所があるため、防水補修および床シートの一部張替を実施した。

② 2号館エレベータ壁面等塗装補修工事 (2,660,532円)

本年3月11日の震災で生じた、2号館エレベータ出入口壁面のクラック等について塗装補修を実施した。

(情報環境整備)

① マネジメント研究科研究室PC更新 (363,720円) (🌸)

リース期間満了に伴い機器を更新した。

(15) 入試状況

1) 平成24年度入試結果 (平成24年3月31日)

① 大学院

(単位：名)

研究科	専攻	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
人文科学研究科	日本文化	8	3	3	2	2	2
	臨床心理学	12	30	27	16	16	14
マネジメント研究科	マネジメント	15	1	1	1	1	1
合計		35	34	31	19	19	17

② 学部

(単位：名)

学部	学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
文学部	人文	180	436	421	379	231	206
	現代文化表現	90	283 (1)	274 (1)	184 (1)	132 (1)	118 (1)
	コミュニケーション文化	120	268 (6)	261 (5)	241 (3)	134 (3)	117 (3)
	臨床心理	120	291	280	204	145	137
マネジメント学部	マネジメント	210	465 (3)	451 (3)	421 (1)	250 (1)	225 (1)
	観光マネジメント	90	226 (1)	219 (1)	182 (1)	123 (1)	110 (0)
	生活環境マネジメント	60	116 (1)	114 (1)	104 (0)	76 (0)	72 (0)
合計		870	2,085 (12)	2,020 (11)	1,715 (6)	1,091 (6)	985 (5)

* () は外数で編入学

(16) 修了者数・卒業者数・進路状況

1) 平成23年度大学院修了者数

① 平成23年9月30日付修了者

(単位：名)

研究科	専攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	0
	臨床心理学専攻	0
マネジメント研究科	マネジメント専攻	0
合計		0

②平成24年3月18日付修了者 (単位：名)

研究科	専攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	3
	臨床心理学専攻	11
マネジメント研究科	マネジメント専攻	2
合 計		16

2) 平成23年度大学卒業生数

①平成23年9月30日付卒業生数 (単位：名)

学 部	学 科	卒業生数
文学部	人文学科	6
	コミュニケーション文化学科	2
	臨床心理学科	1
	(計)	9
マネジメント学部	マネジメント学科	0
	生活環境マネジメント学科	2
	(計)	2
合 計		11


②平成24年3月18日付卒業生数 (単位：名)

学 部	学 科	卒業生数
文学部	人文学科	389
	コミュニケーション文化学科	102
	臨床心理学科	124
	(計)	615
マネジメント学部	マネジメント学科	228
	生活環境マネジメント学科	53
	(計)	281
合 計		896

3) 平成23年度進路状況 (平成24年3月18日卒業生) (単位：名)

卒業生数	就職希望者数	就職者数	内定率	進 学	その他
896	745	686	92.1%	50	160

3. 中学校高等学校

() 印は平成23年度事業計画事業)

(1) 教育・研究関係

教育目的

学祖の目指した女性としての自律し自立するための知、情、意のバランスの取れた発達による全人教育を中高一貫教育の教育システムの中で実践する。

1) 教育目標 ()

①生活指導

中学生は基本的な生活習慣の確立と自己分析 (集団の中における自己の役割・個性) を、高校生は個

性を伸張させる仲間との連携と人生計画をたてられるよう指導した。

イ) 全校的指導

全生徒の担任による個人面談を実施した。

体育祭、文化祭、音楽会、遠足・校外見学を実施した。

ロ) 中学1年 自然教室（北軽井沢研修所 3泊4日）

ハ) 中学2年 自然教室（丸沼 3泊4日）

ニ) 中学3年 修学旅行（広島 2泊3日）

ホ) 高校1年 オリエンテーション（箱根 2泊3日）

ヘ) 高校2年 研修旅行（奈良・京都 4泊5日）

②学習指導

中学生は学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の養成を、高校生は自己の進路目的にむけた学習応用力の養成を目指し指導した。

イ) 全校的指導

全校漢字テスト、読書感想文、夏期・冬期補講、業者による学力テスト及び漢字検定、英語検定を実施した。

ロ) 中学生 茶道裏千家の作法習得、英語・数学・国語の補習

ハ) 国語科 能・狂言、歌舞伎、文楽、雅楽鑑賞

ニ) 社会科 浅草・隅田川周辺、江戸東京博物館見学、東京地方裁判所にて刑事裁判傍聴

ホ) 数学科 中学3年～高校1年 習熟度授業 2クラス2分割

ヘ) 理科 小石川植物園、葛西臨海水族園、上野動物園、鹿島技術研究所見学

ト) 家庭科 テーブルマナー、食卓作法講習会、江戸東京たてももの園見学

チ) 音楽会 合唱コンクール

リ) 英語科 スピーチコンテスト

③「面倒見の良い教育を通して、受験体制へシフトし結果として偏差値を上昇させる」というブランドデザインを具体化するための事業を継続した。

2) 教員の教科指導力の向上 

生徒の指導に当たる教員一人一人の能力を高め、教師集団としての教育力の向上を目指して目標を掲げ実行に移した。

①教員の教科指導力の向上のために次の事業を実施した。

イ) 教員の相互授業参観ならびに意見交換

ロ) 研究授業により自己研鑽

ハ) 校長による授業参観

②教員のクラス経営、保護者との対応等マネジメント能力の向上のために次の事業を実施した。

イ) 中堅教育に対する育成プログラムの実施

③教員の協同意識の向上のために次の事業を実施した。

イ) 新入生出校日に合わせた新人教員への訓話

ロ) 各校務主任による新人教員への研修

ハ) 校長の新任教職員への個人面談

3) 校長による授業参観

平成23年度新任教諭並びに専任講師の授業参観及び面接

4) 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力の向上 

コミュニケーション能力向上のための研修「教師のためのカウンセリング基礎講座」に9月～11月参加した。

5) 講演会

中学1年生主催	
対 象	生徒
講 師	大塚警察
月 日	平成23年4月28日(木) 平成23年10月6日(木)
テーマ	警察講話

高校3年生主催 特別活動	
対 象	生徒
講 師	外部講師
月 日	平成23年6月30日(木)
テーマ	進路指導関連「夏休みの過ごし方」 東進ハイスクール茗荷谷校 校舎長 高岡 誠氏

PTA連合会主催 校長先生講演会	
対 象	PTA会員
講 師	山崎一穎校長先生
月 日	平成23年6月25日(土)
テーマ	跡見花蹊とその教育

高校3年生主催 合同特別活動	
対 象	高校3年 生徒
講 師	卒業生 永瀬友美氏 (慶応義塾大学理工学部3年) 伊藤 翠氏 (首都大学東京都市教養学部3年) 寺田舞香氏 (東京外国語大学外国語学部2年) 須田千恵子氏 (上智大学文学部1年)
月 日	平成23年6月16日(木)
テーマ	進路指導関連

高校3年生主催 合同特別活動	
対 象	高校3年 生徒
講 師	卒業生 阿部加奈子氏 (首都大学東京健康福祉学部3年) 白尾絢乃氏 (慶応義塾大学法学部2年) 新藤朋可氏 (早稲田大学商学部1年)
月 日	平成23年6月23日(木)
テーマ	進路指導関連

中学1年生主催ワークショップ	
対 象	中学1年生
講 師	早川恵子氏 (本校カウンセラー)
月 日	平成23年7月11日(月)
テーマ	ソーシャルスキルワーク

中学2年生主催 学年集会	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	ベネッセ担当者
月 日	平成23年9月15日 (木)
テーマ	自分の将来について考えを深める

中学3年生保護者会主催	
対 象	中学3年生保護者
講 師	ベネッセ担当者
月 日	平成23年9月3日 (土)
テーマ	学力テスト 中3第1回目までのまとめ

高校2年生主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	進路指導主任
月 日	平成23年11月24日 (木)
テーマ	進路指導関連講義

高校1年生主催	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	卒業生
月 日	平成23年11月24日 (木)
テーマ	OGによる大学学部紹介

保健室主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	校医 鈴木真理先生
月 日	平成23年11月17日 (木)
テーマ	思春期からの女性のヘルスプロモーション

PTA連合会主催	
対 象	PTA会員
講 師	副島 賢和氏 昭和大学病院内学級 さいかち学級教諭 学校心理士
月 日	平成23年11月5日 (土)
テーマ	子どもの心をときほぐすコツ

中高主催	
対 象	教職員
講 師	総合警備保障社員 伊藤裕幸氏 (城西支社営業部) 小山幹夫氏 (城西支社 セキュリティサービス部) 上村甲子氏 (城西支社 セキュリティサービス部)
月 日	平成23年12月12日 (月)
テーマ	中高教職員AED救命講習会

高校2年生主催 講演	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	ベネッセ
月 日	平成23年12月8日 (木)
テーマ	ベネッセ講演会「進路指導関連講義④」

中学2年生主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	関 千枝子氏
月 日	平成24年1月26日 (木)
テーマ	平和学習のための講演会

中学1年生	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	弁護士 井口 博 氏
月 日	平成24年1月19日 (木)
テーマ	情報被害者・加害者にならないための心構え

高校2年生主催 講演	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	学年主任講話
月 日	平成24年1月12日 (木)
テーマ	進路指導関連講義⑤

中学1年生主催 特別活動「講演会」	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	名達 健介氏 (ベネッセコーポレーション)
月 日	平成24年1月12日 (木)
テーマ	中学生としての学習方法について

高校2年生主催 講演	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	駿台予備学校 広瀬知都子氏
月 日	平成24年2月23日(木)
テーマ	進路指導関連講義⑨ 高3の0学期を迎える時に

中学3年生主催 キャリア学習講演会	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	笹川 弘美氏(跡見学園卒業生、農学博士、 日本化学未来館科学コミュニケーター)
月 日	平成24年2月10日(金)
テーマ	卒業生のお話を聞き自分の進路選択に役立てる

高校1、2年生合同特別活動	
対 象	高校1年生、高校2年生 生徒
講 師	緑翠会(2012.3.3卒業生) 3名
月 日	平成24年3月12日(月)
テーマ	入試体験談を聞く

カウンセリングルーム主催	
対 象	教員
講 師	早川恵子氏(本校カウンセラー)
月 日	平成24年3月6日(火)
テーマ	子どもを元気にする言葉かけと呼吸法

アクセス通信主催 私学研究セミナー	
対 象	私学教員
講 師	浅見 均 氏(アクセス教育情報セミナー代表)
月 日	平成23年10月25日(火)
テーマ	中学入試の基礎知識2011

進路指導主催 大学模擬授業	
対 象	高校1、2年生
講 師	上智大学、明治学院大学、明治大学、日本女子大学、 明治薬科大学 各大学の教授・准教授
月 日	平成23年10月15日(土)
テーマ	外国語・外国文学、国際関係、経済・経営・商学、心理、 生物・バイオ学、薬学の各分野の模擬授業

(2) 広報関係及び懇談会等関係

1) 入試の日程及び各回募集人数〈☺〉

平成24年度入試募集人数

第1回入試	2月1日	100名
第2回入試	2月2日	100名
第3回入試	2月4日	70名

2) 塾対象学校説明会 (本校主催) <🌸>

進学塾教員対象の学校説明会を行った。

開催日 平成23年5月12日(木)、10月17日(月)

3) TOMAS主催学校説明会

開催日 平成23年6月27日(月)

参加者 57名

4) 学校説明会 <🌸>

○外部主催

4月29日(金)	女子校アンサンブル	学習院女子大学
5月8日(日)	東京私立中学合同相談会	国際フォーラム
5月22日(日)	ベネッセ国際フォーラム合同相談会	国際フォーラム
6月12日(日)	文京区私立中学高等学校連合進学説明会	文京シビックホール
7月10日(日)	ベネッセ進学フェア	東京ビッグサイト
7月27日(水)	帰国生のための学校説明会・相談会	青少年総合センター
8月20日(土)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
8月21日(日)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
9月4日(日)	TOMAS受験相談会	新宿NSビル
10月16日(日)	池袋進学相談会	池袋サンシャイン

○本校における各塾主催

・市進	5月16日(月)	10:30~12:20
・SAPIX	5月19日(木)	10:30~12:20
・栄光ゼミナール	6月23日(木)	10:30~12:20
・TOMAS	6月27日(月)	10:30~12:20
・四谷大塚	10月16日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30
	11月13日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30
	12月11日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30

○本校主催

5月12日(月)	塾の先生対象	10:30~12:20
5月14日(土)	保護者対象	10:30~12:20
6月18日(土)	小学生対象 クラブ発表会	14:00~
7月2日(土)	保護者対象	10:30~12:20
9月9日(金)	保護者対象	18:00~
9月17日(土)	保護者対象(文化祭)	9:00~16:00
9月18日(日)	保護者対象(文化祭)	9:00~16:00
10月17日(月)	塾の先生対象	10:30~12:20
11月5日(土)	保護者対象	10:30~12:20
11月19日(土)	小学生対象 体験授業	14:00~
12月3日(土)	保護者対象	10:30~12:20

(3) 跡見学園/卒業生を迎えてのシンポジウム <🌸>

受験生の親子を対象に実施し、好評であった。

タイトル 跡見学園/卒業生を迎えてのシンポジウム

テーマ My Life

日時 平成23年11月12日(土) 14:00~15:30

場所 跡見李子記念講堂

パネリスト 鈴木 みどり氏(東京国立博物館研究員)

佐分利 幸恵氏 (共同通信社編集局科学部)
 酒井 菜々子氏 (三菱スペース・ソフトウェア株式会社システムエンジニア)
 山崎 一穎 (跡見学園理事長、中学校高等学校校長)

(4) 音楽鑑賞会

本物に触れる機会として、有名な演奏家とN響による第42回の音楽鑑賞会を実施した。

公 演 千住真理子氏&N響メンバーによるアンサンブル
 演 目 モーツァルト 「ディヴェルティメント ニ長調 K..136」
 ヴィターリ (千住明編曲) 「シャコンヌ」
 モーツァルト セレナード13番 ト長調
 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」 K.525
 ヴィヴァルディ 合奏協奏曲「四季」 Op.8
 日 時 平成23年 6月16日 (木)
 場 所 オーチャードホール (渋谷)

(5) 施設設備・情報環境設備関係

1) 施設設備

①跡見李子記念講堂舞台機構設備更新 (15,666,000円) <🌸>

舞台機構設備が更新の時期に達しているため、制御盤系統およびワイヤロープ系統の更新を実施した。

②大小アリーナ 空調機更新 (32,655,000円) <🌸>

大小アリーナ空調機については設置から20年が経過し、経年劣化による性能低下が見受けられるため、本年度実施予定の熱源機器更新に先立ち更新を実施した。

③AED2台の購入 (672,000円) <🌸>

プールと6階廊下にAED 2台を購入し設置した。既存の6台と併せ、計8台となる。

④跡見李子記念講堂舞台照明設備の更新 (第2期) (14,280,000円) <🌸>

経年劣化がみられる跡見李子記念講堂の舞台照明設備について、不具合の未然防止のために平成22年度更新した主幹盤及び調光器盤の更新に引き続き、調光室の操作卓及びクセノンピンスポットライト 2台についても更新を実施した。

⑤大アリーナ天井塗替え他工事 (8,778,000円) <🌸>

平成22年度に実施した大アリーナの屋根防水工事に加え、漏水の蓄積により劣化しカビが生えてしまった天井についても、天井照明器具更新工事と同時に天井面の張替え、塗替えを行い、また天井照明器具の増設に伴い天井への穴あけや照明器具を覆う保護カバーの取り付け等も実施した。

⑥体育倉庫新築工事 (8,190,000円) <🌸>

体育館で使用する器具の保管を主たる目的として、倉庫の新築を実施した。

⑦防災複合盤更新 (5,932,500円) <🌸>

防災複合盤は設置から20年余り経過し、経年劣化がみられるため、更新を実施した。

⑧空調熱源設備更新 (113,400,000円) <🌸>

老朽化により更新が迫られている中高空調熱源設備について、省エネ・CO2削減効果の高い設備・燃料 (都市ガス) を導入することにより、エネルギー使用合理化事業者支援補助金 (平成23年 5月31日申請済) の交付も見込んだ更新を実施した。

⑨校舎内廊下天井及び壁塗り替え工事 (12,285,000円) <🌸>

建築後20年が経過し、校舎内の壁面及び天井の塗装が剥げ落ちたり汚れたりしている部分が多くなっているため、1～6階廊下天井及び壁塗り替えを実施した。

⑩階段落下防止工事 (945,000円) <🌸>

北階段手摺の隙間から落下の危険があるため、アトリウム吹抜けと同様にアクリルパネルを設置した。また、各階段の落下防止ネットについても、経年のたわみや、一部外れている箇所がみられるため、一式点検を行い、必要な補修を実施した。

⑪大アリーナ煙感知器更新（367,500円）〈※〉

大アリーナの煙感知器は設置から年数が経過し、作動不良が発生する可能性が高まっていたため、夏に足場を組んで大アリーナ天井照明を更新するにあわせて、煙感知器についても一式更新を実施した。

⑫第2調理室ガス給湯器更新（525,000円）

第2調理室のガス給湯器が設置後20年が経過し、経年劣化による漏水が発生したが、部品交換期間が終了し修理不可能のため、更新を実施した。

⑬東側外部非常階段梁上部補修工事（997,500円）

東側外部非常階段の梁上面に取り付けてある鋼板が外れかかっており落下の危険が有るため、急ぎ補修を実施した。

⑭外壁劣化診断（1,785,000円）〈※〉

建築基準法第12条に基づく定期報告制度の変更（H20.4～）に従い、赤外線による外壁劣化診断を実施した。

⑮202選択教室改修工事（2,310,000円）

平成24年度より中学2年生が8クラス編成となるのに伴い普通教室が不足するため、202選択教室の間仕切りを撤去し、クローゼットを設置して普通教室の仕様に改修した。

2) 情報環境整備

なし

(6) 入試状況

1) 中学校平成24年度入試結果

①一般入試 (単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
270	1,232	702	396	282

②帰国生入試 (単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
若干名	27	27	23	8

(7) 卒業者数・進路状況

1) 高等学校

①平成23年度卒業者数（平成24年3月3日） 262名

②平成23年度卒業生（平成24年3月31日）大学等合格状況

4年制大学【国公立】合格者数 22名

4年制大学【私立】合格者数 271名

短期大学 合格者数 11名

専門学校 合格者数 10名

留学 2名

2) 平成23年度中学校卒業者数（平成24年3月19日） 263名

Ⅲ. 財 務 の 概 要

1. 平成23年度跡見学園収支決算について

(1) 資金収支計算書

資 金 収 支 計 算 書

平成23年 4月1日から

平成24年 3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,518,864,000	5,462,493,433	56,370,567
授業料収入	3,954,573,000	3,912,503,733	42,069,267
入学金収入	485,990,000	486,097,500	△ 107,500
実験実習料収入	17,345,000	14,671,200	2,673,800
施設設備資金収入	992,748,000	981,229,000	11,519,000
冷暖房費収入	68,208,000	67,992,000	216,000
手数料収入	116,330,000	98,138,800	18,191,200
入学検定料収入	109,400,000	91,730,000	17,670,000
証明手数料収入	2,230,000	2,347,500	△ 117,500
大学入試センター試験実施手数料収入	4,700,000	4,061,300	638,700
寄付金収入	169,350,000	165,532,000	3,818,000
特別寄付金収入	54,844,000	54,869,000	△ 25,000
一般寄付金収入	114,506,000	110,663,000	3,843,000
補助金収入	779,595,000	723,560,999	56,034,001
国庫補助金収入	325,329,000	259,497,000	65,832,000
学術研究振興資金収入	500,000	500,000	0
地方公共団体補助金収入	445,345,000	453,898,399	△ 8,553,399
都私学財団補助金収入	8,421,000	9,665,600	△ 1,244,600
資産運用収入	55,000,000	43,816,383	11,183,617
受取利息・配当金収入	55,000,000	42,261,983	12,738,017
施設設備利用料収入	0	1,554,400	△ 1,554,400
事業収入	135,413,000	119,754,300	15,658,700
補助活動収入	134,786,000	118,997,300	15,788,700
受託事業収入	627,000	757,000	△ 130,000
雑収入	178,274,000	204,805,358	△ 26,531,358
東京都私学財団交付金収入	33,823,000	46,422,598	△ 12,599,598
私立大学退職金財団交付金収入	140,021,000	140,183,700	△ 162,700
その他の雑収入	4,430,000	18,199,060	△ 13,769,060
前受金収入	1,392,909,000	1,230,868,000	162,041,000
授業料前受金収入	568,372,000	510,506,000	57,866,000
入学金前受金収入	508,735,000	483,380,000	25,355,000
実験実習料前受金収入	7,344,000	6,919,000	425,000

施設設備資金前受金収入	288,060,000	212,360,000	75,700,000
冷暖房費前受金収入	13,188,000	12,096,000	1,092,000
補助活動前受金収入	7,210,000	5,607,000	1,603,000
その他の収入	114,978,000	8,226,208,361	△ 8,111,230,361
退職給与引当特定資産からの繰入収入	0	305,000,000	△ 305,000,000
建物償却引当特定資産からの繰入収入	0	500,000,000	△ 500,000,000
法人維持特定資産からの繰入収入	0	866,640,000	△ 866,640,000
前期末未収入金収入	114,338,000	110,096,495	4,241,505
仮払金回収収入	0	123,556,726	△ 123,556,726
前渡金回収収入	0	1,196,164	△ 1,196,164
預り金受入収入	0	1,756,297,208	△ 1,756,297,208
修学旅行費預り金収入	0	76,289,835	△ 76,289,835
仮受金受入収入	0	4,486,491,933	△ 4,486,491,933
貸付金回収収入	640,000	640,000	0
資金収入調整勘定	△ 1,562,988,000	△ 1,515,261,060	△ 47,726,940
期末未収入金	△ 231,547,000	△ 183,820,060	△ 47,726,940
前期末前受金	△ 1,331,441,000	△ 1,331,441,000	0
前年度繰越支払資金	7,800,412,000	7,800,411,337	
収入の部合計	14,698,137,000	22,560,327,911	△ 7,862,190,911

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,756,685,000	3,674,127,638	82,557,362
教員人件費支出	2,333,167,000	2,291,958,170	41,208,830
職員人件費支出	1,101,779,000	1,059,304,570	42,474,430
役員報酬支出	48,968,000	38,287,648	10,680,352
退職金支出	272,771,000	284,577,250	△ 11,806,250
教育研究経費支出	1,301,558,000	1,181,540,959	120,017,041
準備品費支出	752,000	2,394,678	△ 1,642,678
消耗品費支出	97,972,000	94,261,908	3,710,092
光熱水費支出	135,200,000	118,881,341	16,318,659
通信運搬費支出	26,488,000	24,180,681	2,307,319
福利費支出	25,858,000	23,642,349	2,215,651
出版物費支出	50,233,000	46,856,564	3,376,436
印刷製本費支出	54,673,000	48,819,369	5,853,631
旅費交通費支出	32,385,000	24,189,895	8,195,105
奨学費支出	64,734,000	65,552,100	△ 818,100
修繕費支出	62,865,000	55,804,521	7,060,479
保険料支出	3,670,000	3,087,425	582,575
賃借料支出	112,720,000	111,084,778	1,635,222
諸会費支出	9,342,000	7,189,782	2,152,218

学生・生徒会補助金支出	3,848,000	3,249,816	598,184
広告費支出	5,922,000	5,914,234	7,766
会議費支出	290,000	189,381	100,619
食事費支出	9,228,000	7,443,942	1,784,058
支払手数料支出	6,563,000	5,183,592	1,379,408
教育実習謝礼支出	950,000	604,000	346,000
渉外費支出	3,985,000	3,284,222	700,778
業務委託費支出	593,553,000	529,562,507	63,990,493
雑費支出	327,000	163,874	163,126
管理経費支出	764,547,000	671,688,352	92,858,648
準備品費支出	0	2,491,436	△ 2,491,436
消耗品費支出	26,276,000	32,988,521	△ 6,712,521
光熱水費支出	21,410,000	18,386,902	3,023,098
通信運搬費支出	12,045,000	8,491,534	3,553,466
福利費支出	9,650,000	8,233,365	1,416,635
出版物費支出	1,939,000	1,195,833	743,167
印刷製本費支出	20,612,000	17,374,564	3,237,436
旅費交通費支出	15,534,000	11,053,642	4,480,358
修繕費支出	15,088,000	11,626,064	3,461,936
保険料支出	1,509,000	1,184,120	324,880
賃借料支出	106,588,000	106,328,447	259,553
公租公課支出	3,388,000	153,200	3,234,800
諸会費支出	8,184,000	6,524,485	1,659,515
広告費支出	133,211,000	135,557,272	△ 2,346,272
会議費支出	1,968,000	1,211,658	756,342
食事費支出	4,410,000	3,024,011	1,385,989
支払手数料支出	14,666,000	11,274,716	3,391,284
渉外費支出	8,597,000	5,062,928	3,534,072
業務委託費支出	359,309,000	289,356,130	69,952,870
私立大学等経常費補助金返還金支出	0	54,000	△ 54,000
雑費支出	163,000	115,524	47,476
施設関係支出	318,617,000	349,851,992	△ 31,234,992
建物支出	279,617,000	292,164,992	△ 12,547,992
構築物支出	39,000,000	36,204,000	2,796,000
建設仮勘定支出	0	21,483,000	△ 21,483,000
設備関係支出	264,282,000	109,367,420	154,914,580
教育研究用機器備品支出	221,196,000	65,323,830	155,872,170
その他の機器備品支出	12,833,000	14,555,244	△ 1,722,244
図書支出	29,458,000	29,488,346	△ 30,346
車両支出	795,000	0	795,000
資産運用支出	800,000,000	2,431,640,000	△ 1,631,640,000
退職給与引当特定資産への繰入支出	0	265,000,000	△ 265,000,000

建物償却引当特定資産への繰入支出	500,000,000	1,000,000,000	△ 500,000,000
法人維持特定資産への繰入支出	300,000,000	1,166,640,000	△ 866,640,000
その他の支出	116,996,000	6,573,818,283	△ 6,456,822,283
仮払金支払支出	0	117,675,437	△ 117,675,437
前渡金支払支出	0	1,235,055	△ 1,235,055
前払金支払支出	21,000,000	25,422,297	△ 4,422,297
仮受金支払支出	0	4,494,691,533	△ 4,494,691,533
預り金支払支出	0	1,762,508,465	△ 1,762,508,465
修学旅行費預り金支出	0	76,289,835	△ 76,289,835
前期末未払金支出	95,996,000	95,995,661	339
[予備費]	(0) 50,000,000		50,000,000
資金支出調整勘定	△ 108,407,000	△ 120,111,449	11,704,449
期末未払金	△ 84,000,000	△ 93,078,798	9,078,798
前期末前払金	△ 24,407,000	△ 27,032,651	2,625,651
次年度繰越支払資金	7,433,859,000	7,688,404,716	△ 254,545,716
支出の部合計	14,698,137,000	22,560,327,911	△ 7,862,190,911

資金収支計算書の目的は、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応する全ての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、また、その年度における資金の収入と支出の顛末を明らかにすることにあります。

平成23年度の収入の部の合計は22,560,327,911円、一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、14,871,923,195円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、7,688,404,716円となりました。前年度繰越支払資金が7,800,411,337円でしたので、支払資金は、22年度の末と比べて112,006,621円（1.44%）の減となりました。また、前受金収入（平成24年度入学者に係る学納金等の額）を除いた平成23年度における実質的な次年度繰越支払資金は6,457,536,716円となりました。

(2) 消費収支計算書

消費収支計算書

平成23年4月1日から

平成24年3月31日まで

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,518,864,000	5,462,493,433	56,370,567
授業料	3,954,573,000	3,912,503,733	42,069,267
入学金	485,990,000	486,097,500	△ 107,500
実験実習料	17,345,000	14,671,200	2,673,800
施設設備資金	992,748,000	981,229,000	11,519,000
冷暖房費	68,208,000	67,992,000	216,000
手数料	116,330,000	98,138,800	18,191,200
入学検定料	109,400,000	91,730,000	17,670,000
証明手数料	2,230,000	2,347,500	△ 117,500

大学入試センター試験実施手数料	4,700,000	4,061,300	638,700
寄付金	169,350,000	171,285,243	△ 1,935,243
特別寄付金	54,844,000	54,869,000	△ 25,000
一般寄付金	114,506,000	110,663,000	3,843,000
現物寄付金	0	5,753,243	△ 5,753,243
補助金	779,595,000	723,560,999	56,034,001
国庫補助金	325,329,000	259,497,000	65,832,000
学術研究振興資金	500,000	500,000	0
地方公共団体補助金	445,345,000	453,898,399	△ 8,553,399
都私学財団補助金	8,421,000	9,665,600	△ 1,244,600
資産運用収入	55,000,000	43,816,383	11,183,617
受取利息・配当金	55,000,000	42,261,983	12,738,017
施設設備利用料	0	1,554,400	△ 1,554,400
事業収入	135,413,000	119,754,300	15,658,700
補助活動収入	134,786,000	118,997,300	15,788,700
受託事業収入	627,000	757,000	△ 130,000
雑収入	144,451,000	160,135,976	△ 15,684,976
私立大学退職金財団交付金	140,021,000	140,183,700	△ 162,700
その他の雑収入	4,430,000	18,913,381	△ 14,483,381
退職給与引当金戻入額	0	1,038,895	△ 1,038,895
帰属収入合計	6,919,003,000	6,779,185,134	139,817,866
基本金組入額合計	△ 546,899,000	△ 348,268,040	△ 198,630,960
消費収入の部合計	6,372,104,000	6,430,917,094	△ 58,813,094

(単位：円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,668,914,000	3,525,704,781	143,209,219
教員人件費	2,333,167,000	2,291,958,170	41,208,830
職員人件費	1,101,779,000	1,059,304,570	42,474,430
役員報酬	48,968,000	38,287,648	10,680,352
退職金	35,000,000	36,300,000	△ 1,300,000
退職給与引当金繰入額	150,000,000	99,854,393	50,145,607
教育研究経費	1,978,296,000	1,865,745,421	112,550,579
準備品費	752,000	2,394,678	△ 1,642,678
消耗品費	97,972,000	94,261,908	3,710,092
光熱水費	135,200,000	118,881,341	16,318,659
通信運搬費	26,488,000	24,180,681	2,307,319
福利費	25,858,000	23,642,349	2,215,651
出版物費	50,233,000	46,856,564	3,376,436
印刷製本費	54,673,000	48,819,369	5,853,631
旅費交通費	32,385,000	24,189,895	8,195,105

奨学費	64,734,000	65,552,100	△ 818,100
修繕費	62,865,000	55,804,521	7,060,479
保険料	3,670,000	3,087,425	582,575
賃借料	112,720,000	111,084,778	1,635,222
諸会費	9,342,000	7,189,782	2,152,218
学生生徒会補助金	3,848,000	3,249,816	598,184
広告費	5,922,000	5,914,234	7,766
会議費	290,000	189,381	100,619
食事費	9,228,000	7,443,942	1,784,058
支払手数料	6,563,000	5,183,592	1,379,408
教育実習謝礼	950,000	604,000	346,000
渉外費	3,985,000	3,284,222	700,778
業務委託費	593,553,000	529,562,507	63,990,493
雑費	327,000	163,874	163,126
減価償却額	676,738,000	684,204,462	△ 7,466,462
管理経費	818,964,000	727,150,684	91,813,316
準備品費	0	2,491,436	△ 2,491,436
消耗品費	26,276,000	32,988,521	△ 6,712,521
光熱水費	21,410,000	18,386,902	3,023,098
通信運搬費	12,045,000	8,491,534	3,553,466
福利費	9,650,000	8,233,365	1,416,635
出版物費	1,939,000	1,195,833	743,167
印刷製本費	20,612,000	17,374,564	3,237,436
旅費交通費	15,534,000	11,053,642	4,480,358
修繕費	15,088,000	11,626,064	3,461,936
保険料	1,509,000	1,184,120	324,880
賃借料	106,588,000	106,328,447	259,553
公租公課	3,388,000	153,200	3,234,800
諸会費	8,184,000	6,524,485	1,659,515
広告費	133,211,000	135,557,272	△ 2,346,272
会議費	1,968,000	1,211,658	756,342
食事費	4,410,000	3,024,011	1,385,989
支払手数料	14,666,000	11,274,716	3,391,284
渉外費	8,597,000	5,062,928	3,534,072
業務委託費	359,309,000	289,356,130	69,952,870
私立大学等経常費補助金返還金	0	54,000	△ 54,000
雑費	163,000	115,524	47,476
減価償却額	54,417,000	55,462,332	△ 1,045,332
資産処分差額	2,280,000	685,402	1,594,598
教育研究用機器備品処分差額	1,200,000	32,202	1,167,798
その他の機器備品処分差額	80,000	0	80,000
図書処分差額	1,000,000	653,200	346,800

徴収不能額	0	8,029,000	△ 8,029,000
徴収不能額	0	8,029,000	△ 8,029,000
[予備費]	(0) 50,000,000		50,000,000
消費支出の部合計	6,518,454,000	6,127,315,288	391,138,712
当年度消費収入超過額	0	303,601,806	
当年度消費支出超過額	146,350,000	0	
前年度繰越消費支出超過額	3,852,503,000	3,852,502,710	
翌年度繰越消費支出超過額	3,998,853,000	3,548,900,904	

消費収支計算書は、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。消費収入とは、学生生徒等納付金等、学校法人の負債とならない収入（帰属収入）から基本金組入額を控除して計算します。基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとされています。消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出の他、減価償却額等、資金の支出を伴わない支出も含まれます。

平成23年度の帰属収入のうち、寄付金、雑収入が予算額を上回りましたが、学生生徒等納付金、手数料、補助金、資産運用収入、事業収入が予算額を下回ったため、帰属収入合計では、予算に対して139,817,866円減の6,799,185,134円（予算比2.02%減）となりました。一方、基本金組入額は予算を198,630,960円下回ったため、消費収入の部合計は、58,813,094円予算を上回り、6,430,917,094円となりました。

消費支出については、人件費が全体で143,209,219円予算を下回ったほか、教育研究経費が112,550,579円、管理経費が91,813,316円、それぞれ予算を下回りました。また資産処分差額についても、予算を1,594,598円下回りました。予算には計上していない学生生徒等納付金に係る徴収不能額については、8,029,000円の支出額となりました。予備費50,000,000円は未執行でした。これらにより、消費支出の部合計は、予算を391,138,712円下回り、6,127,315,288円となりました。

以上のとおり、消費収入が予算額を上回り、消費支出が予算額を下回った結果、当年度消費収入超過額は、303,601,086円となりました。よって、この額が前年度繰越消費支出超過額3,852,502,710円から減算され、翌年度繰越消費支出超過額は3,548,900,904円となりました。

(3) 貸借対照表

貸借対照表

平成24年 3月31日

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	23,287,091,608	22,802,396,828	484,694,780
有形固定資産	17,228,382,878	17,503,009,498	△ 274,626,620
土地	1,554,303,706	1,554,303,706	0
建物	12,101,161,251	12,330,770,173	△ 229,608,922
構築物	218,229,562	223,887,966	△ 5,658,404
建設仮勘定	13,293,000	0	13,293,000
教育研究用機器備品	608,101,502	697,393,006	△ 89,291,504
その他の機器備品	67,059,618	63,037,838	4,021,780
図書	2,664,156,051	2,630,845,892	33,310,159

車両	2,078,188	2,770,917	△ 692,729
その他の固定資産	6,058,708,730	5,299,387,330	759,321,400
敷金	100,000,000	100,000,000	0
電話加入権	13,566,079	13,566,079	0
商標権	202,651	241,251	△ 38,600
収益事業元入金	3,000,000	3,000,000	0
長期貸付金	3,000,000	3,640,000	△ 640,000
退職給与引当特定資産	1,008,500,000	1,048,500,000	△ 40,000,000
建物償却引当特定資産	2,500,000,000	2,000,000,000	500,000,000
法人維持特定資産	2,430,440,000	2,130,440,000	300,000,000
流動資産	7,940,795,881	7,991,177,574	△ 50,381,693
現金預金	7,688,404,716	7,800,411,337	△ 112,006,621
修学旅行費預り資産	39,836,475	36,453,360	3,383,115
未収入金	175,791,060	110,096,495	65,694,565
仮払金	4,427,130	10,308,419	△ 5,881,289
前渡金	38,891	0	38,891
前払金	32,297,609	33,907,963	△ 1,610,354
資産の部合計	31,227,887,489	30,793,574,402	434,313,087

(単位：円)

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,652,194,642	1,755,233,796	△ 103,039,154
退職給与引当金	1,652,194,642	1,755,233,796	△ 103,039,154
流動負債	1,463,081,570	1,577,599,175	△ 114,517,605
前受金	1,230,868,000	1,331,441,000	△ 100,573,000
仮受金	0	8,199,600	△ 8,199,600
預り金	99,298,297	105,509,554	△ 6,211,257
修学旅行費預り金	39,836,475	36,453,360	3,383,115
未払金	93,078,798	95,995,661	△ 2,916,863
負債の部合計	3,115,276,212	3,332,832,971	△ 217,556,759
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	31,121,512,181	30,773,244,141	348,268,040
第4号基本金	540,000,000	540,000,000	0
基本金の部合計	31,661,512,181	31,313,244,141	348,268,040
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,548,900,904	3,852,502,710	△ 303,601,806
消費収支差額の部合計	△ 3,548,900,904	△ 3,852,502,710	303,601,806
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	31,227,887,489	30,793,574,402	434,313,087

固定資産のうち有形固定資産については、施設、設備の取得等により、473,876,976円増加した一方、減価償却及び除却等により、748,503,596円減少したため、全体で274,626,620円減少し、17,228,382,878円となりました。また、その他の固定資産については、特定資産への積立が主な要因となり、全体で759,321,400円増加し、6,058,708,730円となりました。流動資産については、前受金の減少等に伴い現金預金等の減少が主な要因となり、全体で50,381,693円減少し、7,940,795,881円となりました。

固定負債の退職給与引当金が103,039,154円、流動負債のうち前受金が100,573,000円減少するなど、それぞれ減少したことが主な要因となり、負債の部の合計は、217,556,759円減少し、3,115,276,212円となりました。

基本金の部は、348,268,040円増加し、31,661,512,181円となりました。また、消費収支差額の部（翌年度繰越消費支出超過額）は、消費収支計算書における当年度消費収入超過額である303,601,806円が減少となって、3,548,900,904円となりました。

(4) 財産目録

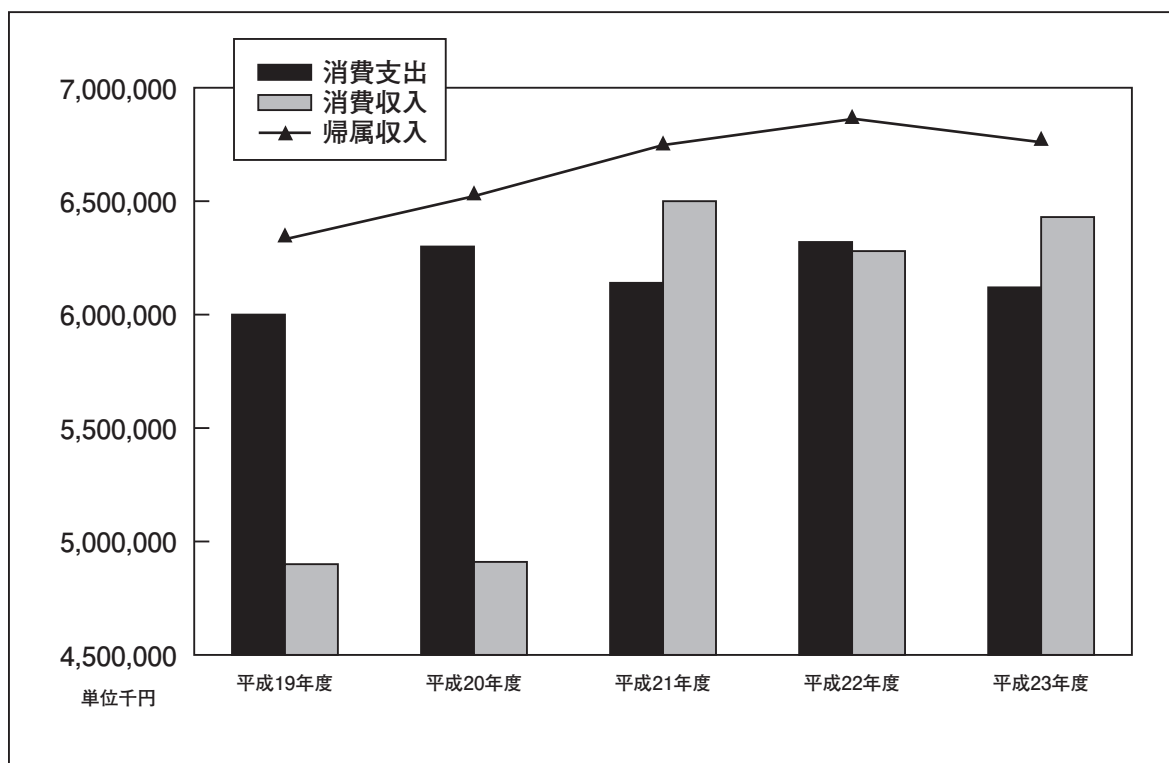
財 産 目 録

平成24年3月31日

I 資産総額	31,227,887,489円
内 (一) 基本財産	17,228,382,878円
(二) 運用財産	13,999,504,611円
II 負債総額	3,115,276,212円
III 正味財産	28,112,611,277円

区分	金額
一 資産	
(一) 基本財産	
1 土地	232,847.96㎡ 1,554,303,706円
(1) 校地	232,847.96㎡ 1,554,303,706円
2 建物	75,523.38㎡ 12,101,161,251円
(1) 校舎	71,616.47㎡ 11,807,832,994円
(2) 校外	2,157.26㎡ 189,966,590円
(3) 法人棟	1,749.65㎡ 103,361,667円
3 教具、校具、備品	32,661点 675,161,120円
4 図書	523,000冊 2,664,156,051円
5 その他	233,600,750円
(二) 運用財産	
1 現金預金	7,688,404,716円
2 積立金	5,938,940,000円
3 その他	372,159,895円
総額	31,227,887,489円
二 負債	
(一) 固定負債	
1 退職給与引当金	1,652,194,642円
(二) 流動負債	
1 前受金	1,230,868,000円
2 未払金	93,078,798円
3 その他	139,134,772円
総額	3,115,276,212円
正味財産 (資産総額-負債総額)	28,112,611,277円

2. 過去5年間の収支決算の推移について



帰属収入

負債とならない収入

消費収入

帰属収入から基本金組入額を控除した収入で、消費支出に充てられる収入

消費支出

消費する資産の取得価額及び用役の対価（人件費、消耗品、旅費交通費等）

IV. 収益事業の概要

(1) 概 要

平成23年度の収益事業部（以下「事業部」という。）は、専任職員2名及び派遣職員1名が業務を担当し、例年どおり主として中学校高等学校の教科書、学用品及びスポーツ用品の販売並びに駐車場賃貸業務を行った。

平成23年度から音羽駐車場は、(株)トヨタエンタプライズ（トヨタ自動車系子会社）に賃貸され、時間貸しの駐車場となった。これで年間賃料が19,920千円（月間1,660千円、税込）となったことで、事業部の経営の安定に大きく貢献している。

平成23年度は、専任職員が3名から2名になったことに伴う人件費減により、当期純利益は前年度繰越赤字△5,784千円を上まわる7,144千円となり、この結果、平成23年度の繰越利益剰余金期末残高は1,359千円の黒字計上となった。

なお、学園への寄付については、負債となる未払金9,678千円の学園への返金及び繰越赤字の解消による健全な事業財務の回復を優先させることとし、平成23年度は見送ることとした。

<事業部の年間業務>

- 4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）
 - 中・高生教科書販売
 - ランチ販売
 - 団体保険、損害保険代理店業務
 - 駐車場賃貸
- 5月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売、幹事会・父母会等飲料水販売
収益事業決算
- 7月 中・高生夏期講習用テキスト販売
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 8月 夏期休業
- 9月 中・高生新年度用教科書・教材問合せ準備
中学校・高校体育祭飲料水販売
中学校・高校文化祭飲料水・入試問題集・グッズ等販売
- 10月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
中学校新入生用学用品発注
- 11月 中・高生新学期用教科書入荷
中・高生用副教材発注準備・教師用指導書発注
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 12月 中・高生新学期用教科書入荷
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
中学校帰国生入試関係準備
- 1月 中・高在校生教科書副教材申込・集計等
中・高生新学期用副教材の発注
- 2月 中学校新入生副教材・学用品販売
- 3月 中・高在校生教科書・副教材販売（2月下旬から3月上旬）
中学校・高校卒業式飲料水等販売
中・高生新学期用物品等準備
棚卸し（月末）

予算編成

(2) 貸借対照表について

資産の部合計	24,852千円で、前年度比	7,268千円の増
負債の部合計	20,492千円で、前年度比	123千円の増
純資産の部合計	4,359千円で、前年度比	7,144千円の増

平成23年度は、流動負債の未払金9,678千円を学園に返金し、また純資産の部の繰越利益剰余金についても、前年度の△5,784千円の赤字が解消されて1,359千円の黒字となった。このことは、資産の増加が純資産の増加によるものであることから、前年度より資産内容の改善が進んだ。

なお、資産の部における商品2,574千円増については、次年度用の教科書が改訂されて教師用の高額な指導解説書も一斉に更新されたことから、これが棚卸資産に加わったことが主な要因となり、期末たな卸高が2,574千円増となったことによるものである。また、買掛金6,917千円増については、この商品増に加え、前年度の教科書の一部について平成23年度に請求を受けたことが主な要因となっている。

(3) 損益計算書について

平成23年度は、主として賃貸料収入増により、売上総利益が34,832千円で前年度比1,491千円の増加となり、また当年度は専任職員2人体制（1名減）による人件費減がプラス要因となり、当期純利益は7,144千円の黒字となる。これに前年度の繰越赤字△5,784千円を加算すると、平成23年度の繰越利益剰余金期末残高は、平成17年度以来の黒字で1,359千円となった。

平成23年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	24,365,182
固定資産	487,507
資産の部合計	24,852,689
負債の部	
流動負債	17,492,700
固定負債	3,000,000
負債の部合計	20,492,700
純資産の部	
元入金	3,000,000
剰余金・欠損金	1,359,989
繰越利益剰余金	1,359,989
純資産の部合計	4,359,989
負債・純資産の部合計	24,852,689

平成23年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)



経常損益の部	
営業損益	
営業収益	89,174,980
営業費用	54,342,664
売上総利益	34,832,316
販売費及び一般管理費	27,976,068
営業利益	6,856,248
営業外収益（費用）	1,190,154
経常利益	8,046,402
特別損益の部	
特別損失	0
税引前当期利益（損失）	8,046,402
法人税・住民税及び事業税	901,800
当期純利益（損失）	7,144,602
繰越利益剰余金期首残高	△5,784,613
繰越利益剰余金期末残高	1,359,989

監査報告書

平成24年5月17日

学校法人 跡見学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 跡見学園

監事 金井 塚 清 
監事 伊澤 取 雄 

私たち学校法人跡見学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第10条の規定に基づき、平成23年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の法人の業務、収支及び財産並びに理事の職務執行の状況を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会及び評議員会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務、収支及び財産の状況を調査し、また、会計監査人（角諭、杉山七美）と連携を取り、計算書類につき検討を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 法人の業務に関する決定、理事の職務執行及び業務の報告に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表並びに収益事業に係る計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

可 決 承 認 日

◎平成24年度跡見学園事業計画及び収入支出予算

平成24年3月27日 第313回 評議員会
第360回 理事会

◎平成23年度跡見学園事業実績の報告及び収支決算報告

平成24年5月22日 第361回 理事会
第314回 評議員会

跡見学園法人事務局 総務部庶務課



跡見学園報 第54号 別冊

発行日 平成24年 7月17日

編集 跡見学園法人事務局

発行 学校法人跡見学園

〒112-8629

東京都文京区大塚一丁目5番9号

電話 03-3941-8161

FAX 03-3941-8162

URL : <http://www.atomi.ac.jp/>